# 令和６年度事業報告書

公益財団法人　神奈川芸術文化財団

# 令和６年度事業報告及び附属明細書

○　公益財団法人神奈川芸術文化財団（以下「財団」という。）は、財団の経営方針に基づき、財団が神奈川の芸術文化の創造と振興にさらに力を発揮していくため令和３年に定めた「理念」及び「ミッション」をのもと、引き続き指定管理業務や法人運営業務を実施した。（「理念」及び「ミッション」は巻末に参考資料として記載）

○　指定管理業務においては、第４期（令和３年度～令和７年度）の指定管理者選定経緯を踏まえ、神奈川県民ホール（以下「県民ホール」という。）、KAAT神奈川芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）、神奈川県立音楽堂（以下「音楽堂」という。）の３館の指定管理者として、その４年目においても、多彩な芸術文化事業や施設管理運営業務を適切に実施した。

○　芸術文化事業では、ミッション「創造に挑む」を踏まえた事業として10事業／10演目（69公演）・７企画（10回）・２展覧会（入場者数等30,935人）を実施した。またミッション「感動を分かち合う」を踏まえた事業として、17事業／83演目（162公演）・11企画（52回）・３展覧会（入場者数等89,327人）を実施した。またミッション「つねに考える」を踏まえた事業として、５事業／７演目（14公演）・16企画（32回）（入場者数等3,216人）を実施した。またミッション「未来につなぐ」を踏まえた事業として、15事業／13演目（31公演）・40企画（40回）・３展覧会（入場者数等13,805人）を実施した。その他、音楽堂において開館70周年記念週間の事業として、１事業／２演目（２公演）・７企画（８回）（入場者数等1,568人）を実施した。

○　県民ホールが令和７年３月をもって休館するにあたり、３月を「ありがとう神奈川県民ホール」と銘打ち、指定管理事業だけでなく、県からの受託事業、多彩な共催事業など様々な記念公演やイベントを、感謝を込めて開催した。

○　令和３年度より財団本部に社会連携ポータル部門を立ち上げ、引き続き、専門人材育成プログラム、学校教育へのアプローチ、あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ、地域との連携を強化する機能の４つのアプローチを中心として、各施設と協働しながら様々な取組を展開した。また、「共生共創事業」を神奈川県から受託し、高齢者・障がい者等による芸術活動への支援を行うなど県域の文化事業にも積極的に取り組んだ。

○　芸術文化に関する情報の収集提供として、情報誌「神奈川芸術プレス」を発行し、３館や県域の文化情報を紹介するとともに、ホームページ・SNSの運営を行った。

○　令和６年度の財団運営に関連して、12月にサイバー攻撃により財団情報システムに大きな被害が発生したが、公演事業や施設の運営がとまらないよう対応を行った。また、令和７年２月に労働基準監督署から年俸額の割増賃金の基礎となる賃金に未算入の手当があるなどの是正勧告等を受けたが、未算入による未払い賃金について過去３年間分を遡及して支払うなどの対応を行った。

**【令和６年度に実施した指定管理事業（統計）】**※指定管理事業＝主催・共催・提携公演（他所での巡回公演等も含む）

| 施設名 | 事業 | 演目（企画） | 公演（回） | 入場者数（人） |
|---|---|---|---|---|
| 県民ホール | 13 | 60 | 61 | 63,472 |
| 芸術劇場 | 19 | 69 | 271 | 44,416 |
| 音楽堂 | 16 | 75 | 88 | 30,963 |
| 合計 | 48 | 204 | 420 | 138,851 |

# １．芸術文化事業 公１

## （１）県民ホール

・　県民ホールが実施した芸術文化事業は13事業／42演目（48公演）・11企画（13回）・７展覧会であり、入場者数等は63,472人であった。

・　県民ホールが開館50周年を迎えるにあたり、開館50周年記念シリーズとして多彩な公演、美術展、講座等を実施した。

・　大ホールでは、神奈川県民ホール開館50周年記念オペラシリーズVol.２ オペラ「ローエングリン」を上演。企画段階で掲げてきた目標「当ホールプロデュースによる新しい舞台芸術を創作すること」「神奈川県民および日本全国に本事業を発信すること」「若い才能を起用し人材育成を行うこと」に対し、創作の過程と公演を通じて、一定の成果をあげることができた。現代音楽公演の集客としては珍しい、２日間で2,000人に迫る集客を達成し、主演の女優・橋本愛が、表現者としての底力を見せ、大胆な発声による熱演はプロの評論家も含めて来場者の大きな反響を呼んだ。

・　そのほか大ホールでは、オープンシアターの企画として、バレエ公演「くるみ割り人形」を、未就学児にとっても適切な約60分のハイライト版でお届けしたほか、５年ぶりの日本ツアーとして、世界トップレベルの気鋭のダンスカンパニーＮＤＴや、毎年高い人気を誇る「ファンタスティック・ガラコンサート」を上演し、国内外で活躍する一流アーティストによる上質な舞台芸術に触れる機会を創出した。

・　小ホールでは、「Ｃ×（シー・バイ）」シリーズを中心に展開。国内外で活躍する作曲家・酒井健治の最新作とドビュッシーの傑作との競演が楽しめる「Ｃ×Ｃ（シー・バイ・シー）」、中田恵子オルガン・アドバイザー監修のもと「Organ’s 50th Birthday!」をはじめとするオルガンの多彩な魅力を楽しむ「Ｃ×Organ（シー・バイ・オルガン）」、大塚直哉が音楽監督を務める「Ｃ×Baroque（シー・バイ・バロック）」を上演し、小ホールならではの空間で、音楽を身近に感じる場を提供した。また、休館までの最終月３月には、集大成として６人の作曲家が神奈川県民ホールのために委嘱作曲した作品を一挙にお届けする「オルガン委嘱作品コンサート」、楽器に触れたことがない方でもオルガン演奏が体験できる「オルガンチャレンジスペシャル！」を開催し、あらゆる世代に惜しまれつつオルガン公演のフィナーレを締めくくった。

・　舞台芸術講座として２企画を実施した。青島広志氏によるシリーズ講座では、少女漫画をテーマとした講座を開催し、漫画界の巨匠・水野英子氏をゲストに迎え、トークを交えたレクチャーコンサートを実施した。また、神奈川県民ホール開館50周年記念オペラシリーズVol.２ オペラ「ローエングリン」の関連講座として、神奈川県民ホール６階の英一番館にて、作曲家サルヴァトーレ・シャリーノやオペラ「ローエングリン」の魅力についての講座を開催し、会場参加とオンライン視聴参加でより多くの方に受講いただいた。

・　ギャラリーでは、神奈川県美術展に加え、オープンシアターにて、プロ・アマを問わず夢中で創作する人たちを紹介する「みんなの空き地」を開催し、それぞれの施設への愛着を喚起させることとなった。また、企画展「眠れよい子よ　よい子の眠る／ところ」を開催。「場」というコンセプトに「よい子」「眠る」をキーワードとして、５人の現代作家が現代美術として表現を展

開した。即興パフォーマンスやドラマリーディングの関連企画を併せて打ち出し、現代美術への理解を深めることができた。

・　県域では、鎌倉芸術館にて神奈川県美術展の巡回展を実施し、受賞作品および鎌倉市周辺の入選者を中心とした作品を展示し、美術に親しむ機会を拡げた。

・　昨年度に引き続き、社会連携ポータル部門との連携により、インターンシップの受け入れを協働し、今年度は新しい取り組みとして、オルガン・アドバイザー・中田恵子氏によるオルガン・レクチャーを開催した。

・　県民ホールの休館前最後の1か月（３月１日～31日）は、「ありがとう神奈川県民ホール」と銘打ち、50年間の感謝の思いを込めて、思い出に刻まれる様々な記念公演やイベントを開催した。神奈川県の受託事業として、かながわ観光親善大使の上野水香氏プロデュースによる「Jewels from MIZUKA 2025」、県内８連盟９団体による「神奈川県吹奏楽フェスティバル」、白井貴子氏をゲストに神奈川フィルハーモニー管弦楽団・神奈川県合唱連盟特別混成合唱団らによるフィナーレコンサート「ありがとう神奈川県民ホール」等を上演し、延べ約8,000人超の来場者があった。また、ギャラリーにおける「META2025」をはじめ、バレエ・ポピュラー・オルガン・寄席等これまでの県民ホールを彷彿とさせるバラエティに富んだ共催公演や、県受託事業の共生共創事業から「共生共創フェスティバル」としてシニア公演など、多彩なプログラムを目白押しに開催した。50年間人々から愛された県民ホールは、３月31日最終日、ギャラリーや小ホールでのクロージングイベント、大ホールを満席にしてのフィナーレコンサートで、万雷の拍手を受けて、幕を下ろすことができた。

**■ミッション「創造に挑む」**

［３事業／２演目（３公演）・２企画（４回）／１展覧会　入場者数等5,794人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>５月11日(土) | 小ホール | C×C　作曲家が作曲家を訪ねる旅 vol.６<br>酒井健治×クロード・ドビュッシー | 291 |
| 10月５日(土)<br>～６日(日) | 大ホール | 神奈川県民ホール開館50周年記念<br>オペラシリーズVol.２<br>サルヴァトーレ・シャリーノ作曲<br>『ローエングリン』　≪２公演≫ | 1,920 |
| 12月15日(日)<br>～<br>令和７年<br>１月25日(土) | ギャラリー<br>第１～第５展示室 | 企画展<br>眠れよい子よ　よい子の眠る／ところ<br>≪１展覧会≫ | 3,583 |
| １月18日(土) | | 関連企画<br>浜田純平（ダンサー）による即興パフォーマンス　≪１企画２回≫ | (51)<br>※企画展入場者数に含む |
| １月24日(金) | | 関連企画<br>ドラマリーディング「銀河鉄道の夜」<br>≪１企画２回≫ | (97)<br>※企画展入場者数に含む |

■ミッション「感動を分かち合う」

［６事業／37演目（42公演）・１企画（１回）／３展覧会　入場者数等50,002人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| C×Organ　オルガン・コンサート・シリーズ | | | |
| オルガン・プロムナード・コンサート | | | |
| 令和６年<br>４月26日(金) | 小ホール | オルガン・プロムナード・コンサート<br>Vol.405 | 339 |
| ８月30日(金) | | オルガン・プロムナード・コンサート<br>Vol.406 | 252 |
| 10月25日(金) | | オルガン・プロムナード・コンサート<br>Vol.407 | 336 |
| 令和７年<br>１月17日(金) | | オルガン・プロムナード・コンサート<br>Vol.408 | 333 |
| 令和６年<br>11月16日(土) | 小ホール | 中田恵子　オルガンリサイタル | 388 |
| 12月８日(日) | 小ホール | オルガンクリスマスコンサート<br>《J.S.バッハのクリスマス》 | 396 |
| 令和７年<br>２月８日(土) | 小ホール | 《オルガンavecシリーズ vol.３》<br>オルガンavecテアトル<br>『レのシャープ君とミのフラットさん』 | 366 |
| ３月29日(土) | 小ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>音の記憶、空間の記憶　～神奈川県民ホール・オルガン委嘱作品コンサート～ | 392 |
| オープンシアター2024 | | | |
| 令和６年<br>５月23日(木)<br>～６月１日(土) | ギャラリー<br>第１展示室 | みんなの空き地<br>≪１展覧会≫ | 1,323 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>６月１日(土) | 小ホール | オルガンの謎を解き明かそう！ | 375 |
| ６月１日(土) | 大ホール | リラックスパフォーマンス「くるみ割り人形」（ダイジェスト版） | 1,609 |
| ７月５日(金)<br>～６日(土) | 大ホール | NDT（ネザーランド・ダンス・シアター）<br>プレミアム・ジャパン・ツアー2024<br>NDT Japan Tour 2024　神奈川公演<br>≪２公演≫ | 3,869 |
| 12月29日(日) | 大ホール | ファンタスティック・ガラコンサート2024<br>～愛は永遠に～ | 2,009 |
| 令和７年<br>３月22日(土)<br>～23日(日) | 小ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>C×Baroque<br>大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol.４<br>バッハからの”招待状” or“ 挑戦状” !?<br>～出版された《クラヴィーア練習曲》シリーズより～　≪２公演≫ | 715 |
| 共催事業 | | | |
| 令和６年<br>５月25日(土) | 大ホール | 神奈川フィルハーモニー管弦楽団<br>県民名曲シリーズ第20回<br>「嗚呼、昭和のレトロ・クラシック!」 | 731 |
| ６月15日(土) | | 神奈川フィルハーモニー管弦楽団<br>県民名曲シリーズ第21回<br>「踊れ!第九」 | 783 |
| 令和７年<br>３月22日(土) | | ありがとう神奈川県民ホール<br>神奈川フィルハーモニー管弦楽団<br>県民名曲シリーズ第22回<br>「ありがとうカナケン! ～ザッツ・エンタテインメント～」 | 1,705 |
| その他共催公演・展覧会 | | | |
| 令和６年<br>５月23日(木)<br>～６月１日(土) | ギャラリー<br>第２展示室～第５展示室 | 第62回 日本現代工芸美術展<br>併催展<br>横浜近郊美術大学卒業制作選抜展<br>現代工芸美術家協会 関東在住作家<br>陶磁・革小作品展<br>第７回 神奈川工芸美術展<br>≪１展覧会≫ | 2,158 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>６月22日(土)、<br>25日(火) | 大ホール | 英国ロイヤル・オペラ2024年日本公演<br>ジュゼッペ・ヴェルディ作曲<br>『リゴレット』　全３幕<br>≪２公演≫ | 3,460 |
| ７月７日(日) | 小ホール | 横浜シティオペラ コンサートシリーズ ’24<br>歌曲の花束 Vol.19<br>世界の名曲 ～ My favorite songs ～ | 129 |
| ７月14日(日) | | 横浜シティオペラ コンサートシリーズ ’24<br>歌曲の花束 Vol.20<br>世界の名曲 ～ My favorite songs ～ | 145 |
| ８月６日(火) | 大ホール | バレエの妖精とプリンセス<br>ヨーロッパ名門バレエ団のソリストたち<br>≪２公演≫ | 944 |
| ９月７日(土) | 大ホール | ウィーン放送交響楽団 with 角野隼斗 | 2,311 |
| 10月17日(木) | 小ホール | Ferris Concert Vol.75<br>フェリス・音楽の花束<br>横浜に響く音色　～フェリス作曲家の偉大なる航跡と新たな船出～ | 156 |
| 10月26日(土) | 大ホール | 第40回　芸術舞踊展<br>MODERN & BALLET 2024 | 1,144 |
| 11月３日(日祝) | 大ホール | 第73回神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式 | 1,162 |
| 11月16日(土) | 大ホール | キーウ・クラシック・バレエ2024<br>「くるみ割り人形」全幕 | 1,655 |
| 12月14日(土) | 大ホール | CHINTAI クラシック・スペシャル<br>ジョージア国立バレエ「くるみ割り人形」<br>ニーナ・アナニアシヴィリ芸術監督就任<br>20周年記念　≪２公演≫ | 2,312 |
| 12月20日(金) | 大ホール | 松山バレエ団 2024 Xmas 公演<br>「くるみ割り人形」全幕 | 1,557 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>12月21日(土) | 大ホール | 松山バレエ団 2024 Xmas 公演<br>こども「くるみ割り人形」劇場 | 1,540 |
| 令和７年<br>１月19日(日) | 大ホール | (公社) 日本バレエ協会 関東支部<br>神奈川ブロック 第39回自主公演<br>Ballet Art KANAGAWA 2025<br>「眠れる森の美女」全幕 | 2,106 |
| ２月８日(土) | 大ホール | アトリエヨシノ<br>マラーホフ版「白鳥の湖」全幕 | 2,053 |
| ３月２日(日) | 大ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>株式会社SGC presents<br>ウクライナ国立オデーサ歌劇場オーケストラ<br>日本公演 | 1,225 |
| ３月５日(水) | 大ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>高橋優 LIVE TOUR 2025<br>「ARE YOU HAPPY?」 | 2,300 |
| ３月11日(火) | 大ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>TOSHIKI KADOMATSU<br>Performance 2025 C.U.M Vol.２<br>Instrumental Tour“ Tiny Scandal” | 2,197 |
| ３月14日(金) | 小ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>細川久恵 オルガン・リサイタル2025<br>沈黙の光<br>Ｊ.アラン × Ａ.サン=テグジュペリ | 153 |
| ３月15日(土) | 小ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>県民ホール寄席（番外編）<br>春風亭一之輔 独演会 | 400 |
| ３月20日(木祝)<br>～31日(月) | ギャラリー | ありがとう神奈川県民ホール<br>META2025<br>≪１展覧会≫ | 2,823 |
| ３月29日(土) | | META2025<br>県民ホールギャラリークロージングパフォーマンス ≪１企画≫ | (440)<br>※META2025入場者数に含む |
| ３月29日(土) | 大ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>松山バレエ団<br>新「白鳥の湖」全幕 | 1,851 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和７年<br>３月30日(日) | 大ホール | ありがとう神奈川県民ホール<br>とびだせ!マグカル開放区 in 県民ホール | 300 |

**中止した事業**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>12月25日(水) | 鎌倉芸術館 | 県域巡回事業　ダンス劇「マリーの夢」 | |

**■ミッション「つねに考える」**

［１事業／２企画（２回）　入場者数等236人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>５月11日(土) | 小ホール | C×C　作曲家が作曲家を訪ねる旅 vol. 6<br>（再掲　詳細はミッション「創造に挑む」に記載。事業数、入場者数も「創造に挑む」で計上） | （再掲） |
| ８月17日(土) | 小ホール | 舞台芸術講座<br>青島広志&水野英子の「少女マンガ界とオペラ界」～ワーグナーに焦点をあてて!～<br>≪１企画≫ | 211 |
| ８月31日(土) | 英一番館 | 舞台芸術講座<br>マエストロ・サロン・レクチャー<br>「耳の劇薬」～あなたもハマる　S.シャリーノのささやき～　≪１企画≫ | 25 |

**■ミッション「未来につなぐ」**

［３事業／３演目（３公演）・６企画（６回）／３展覧会　入場者数等7,440人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 県民ホール人材育成事業 | | | |
| 令和６年<br>４月29日(月祝) | 大ホール | 横浜バレエフェスティバル2024<br>出演者オーディション<br>≪１企画≫ | 29 |
| ６月１日(土)、<br>７月11日(土) | ギャラリー | 県民ホール　ギャラリー・インターン<br>≪１企画≫ | 1 |
| ７月４日(木) | 大会議室 | 劇場運営マネージメント講座<br>障害者差別解消法について　文化へのアクセスをデザインする　～ミュージアムと合理的配慮～　≪１企画≫ | 85 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>８月21日(水) | 小ホール | C×Orgsnオルガン・コンサート・シリーズ<br>オルガン・プロムナード・コンサート<br>vol.408　出演者オーディション<br>≪１企画≫ | 5 |
| ９月４日(水) | 全館 | 2024年度神奈川県立音楽堂&神奈川県民ホール<br>制作・広報インターン　≪１企画≫ | 7 |
| ９月11日(水) | 小ホール | 劇場運営マネージメント講座<br>令和６年度神奈川県公立文化施設協議会<br>第２回技術研修会<br>劇場におけるドローンの活用について<br>≪１企画≫ | 38 |
| 共催事業 | | | |
| ４月29日(月祝) | 大ホール | 横浜バレエフェスティバル2024<br>出演者オーディション　ファイナル | 48 |
| ８月３日(土) | | 横浜バレエフェスティバル2024　前夜祭 | 83 |
| ８月４日(日) | | 横浜バレエフェスティバル2024 | 1,746 |
| １期展：<br>９月４日(水)<br>～15日(日)<br>２期展：<br>９月18日(水)<br>～29日(日) | ギャラリー<br>第１～第５展示室 | 第59回神奈川県美術展<br>１期展（平面立体）　併催展　中高生特別企画展<br>２期展（工芸・書・写真）　併催展　中高生特別企画展<br>≪２展覧会≫ | 4,204 |
| 11月１日(金)<br>～10日(日) | 鎌倉芸術館ギャラリー | 第59回神奈川県美術展　巡回展<br>≪１展覧会≫ | 1,194 |

■神奈川県受託事業

指定管理事業の統計カウントには含めない

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| ありがとう神奈川県民ホール | | | |
| 令和７年<br>３月８日(土) | 大ホール | Jewels from MIZUKA 2025<br>ジュエルズ・フロム・ミズカ 2025 | 2,213 |
| ３月 16 日(日) | 大ホール | 神奈川県吹奏楽フェスティバル | 3,852 |
| ３月 31 日(月) | 小ホール | 小ホールクロージングセレモニー | 199 |
| ３月 31 日(月) | 大ホール | フィナーレコンサート<br>「ありがとう県民ホール」 | 2,065 |
| （共生共創フェスティバル） | | | |
| ３月５日(水)<br>～９日(日) | ギャラリー | 神奈川県あそび歌プロジェクト<br>『世界のうたとあそぼう!』展示 | 201 |
| ３月８日(土) | ギャラリー | 神奈川県あそび歌プロジェクト<br>『世界のうたとあそぼう!』<br>ワークショップ | (27)<br>※『世界のうたとあそぼう!』入場者数に含む |
| ３月８日(土) | 小ホール | 横須賀シニア劇団公演「よっしゃ!!」<br>レトロシアター | 100 |
| ３月９日(日) | 小ホール | 精神障害を考える<br>演劇ワークショップ・プロジェクト<br>『IKIZAMA ミュージックぱーてぃー』 | 203 |
| ３月 15 日(土) | 大ホール | チャレンジ・オブ・ザ・シルバー<br>『Largo』 | 842 |

（その他の取組）　　事業数、入場者数等の統計カウントには含めない

| 取組 | 内容 |
|---|---|
| ワークショップ | ①NDTワークショップ（共催）<br>開催日：令和６年７月２日(火)～３日(水)<br>場所：リハーサル室<br>参加人数：99人（４回実施）<br>②横浜バレエフェスティバル2024木村優里 特別ワークショップ（共催）<br>開催日：令和６年８月１日(木)～３日(土)<br>場所：リハーサル室<br>参加人数：122人（３回実施） |
| トークイベント等 | ①C×C　作曲家が作曲家を訪ねる旅vol.６　酒井健治×クロード・ドビュッシー　プレトーク<br>開催日：令和６年５月11日(土)<br>場所：小ホール<br>②第59回神奈川美術展ギャラリートーク（平面立体、書、工芸、写真）<br>開催日：令和６年９月14日(土)、21日(土)<br>場所：ギャラリー<br>③企画展　眠れよい子よ よい子の眠る／ところ　アーティストトーク×キュレータートークセッション<br>開催日：令和６年12月15日(日)<br>場所：ギャラリー<br>④C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ　《オルガンavecシリーズ vol.３》オルガンavecテアトル　アフタートーク<br>開催日：令和７年２月８日(土)<br>場所：小ホール<br>⑤C×Baroque シー・バイ・バロック大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol.４バッハからの”招待状”or“挑戦状”!?<br>～出版された《クラヴィーア練習曲》シリーズより～　アフタートーク<br>開催日：令和７年３月23日(日)<br>場所：小ホール<br>⑥META2025　ギャラリートーク（共催）<br>開催日：令和７年３月29日(土)、30日(日)<br>場所：ギャラリー<br>⑦META2025　座談会「これまで」、座談会「これから」（共催）<br>開催日：令和７年３月31日(月)<br>場所：ギャラリー |

| 取組 | 内容 |
| --- | --- |
| その他の芸術文化普及の取組 | ①C×Organ　オルガン・コンサート・シリーズオルガン・プロムナード・コンサート　オルガンにチャレンジ<br>開催日：vol.405 令和６年４月26日(金)<br>vol.407 令和６年10月25日(金)<br>場所：小ホール<br>参加人数：vol.405 ３人、vol.407 ３人<br>②オープンシアター2024　オルガン見学<br>開催日：令和６年６月１日(土)<br>場所：小ホール<br>③オープンシアター2024　神奈川フィル ミニミニコンサート<br>開催日：令和６年６月１日(土)<br>場所：大ホールロビー<br>④オープンシアター2024　バックステージツアー<br>開催日：令和６年６月１日(土)<br>場所：大ホール<br>⑤C×Organ　オルガン・コンサート・シリーズオルガン・プロムナード・コンサート オルガン見学<br>開催日：vol.406 令和６年８月30日(金)<br>vol.408 令和７年１月17日(金)<br>場所：小ホール<br>⑥横浜みなとみらいホール&神奈川県民ホール 連携事業　パイプオルガンを弾いてみよう<br>開催日：令和６年11月29日(金)<br>場所：小ホール<br>参加人数：53人（６回実施）<br>⑦ありがとう神奈川県民ホール オルガンチャレンジスペシャル!<br>開催日：令和７年３月30日(日)、31日(月)<br>場所：小ホール<br>参加人数：188人（６回実施）<br>⑧META2025　クロージングセレモニー<br>開催日：令和７年３月31日(月)<br>場所：ギャラリー |

神奈川県民ホール開館 50 周年記念
オペラシリーズ Vol. 2
サルヴァトーレ・シャリーノ作曲
『ローエングリン』
令和６年 10 月５日(土)、６日(日)
大ホール
撮影：阿部章仁

## （２）芸術劇場

- 芸術劇場が実施した芸術文化事業は19事業／32演目（178公演）・36企画（93回）・１展覧会であり、入場者数等は44,416人であった（国内各地で開催した巡回公演を除くと35,127人）。
- 長塚圭史芸術監督の４年目として、引き続き、劇場を「ひらいて」いくこと、豊かなプログラムを提供する枠組みとしてシーズン制を設けること、創作環境と劇場の未来を考えること、この３つの方針を掲げ、多様な作品制作とその発信に取り組み、大きな成果を生んだ１年となった。
- プレシーズンにおいて、５−６月に、令和４年の初演で高く評価された「ライカムで待っとく」は、再演を待望する声を多数受けていたが、満を持しての再創作と上演をおこなった。沖縄の過去、現在、未来を演劇ならでは手法で描き、芸術劇場だけでなく、九州沖縄での上演も実現し、公共劇場から社会への問いかけを観客と共有する機会となった。
- 例年開催しているキッズ・プログラムでは、新進気鋭の劇作家・演出家である加藤拓也の作・演出により、「らんぼうものめ」の創作上演をおこなった。上演後には、「らんぼうもののめのちいさな美術館」と題したバックステージツアーをおこない、子どもたちが演劇や舞台表現を身近に感じられる機会を提供した。また、コロナ禍で途絶えていた海外からの招聘を「ペック」の上演によって成功させることができた。
- ９月からのメインシーズンにおいては、『某（なにがし）』をシーズンタイトルとし、そこから想起される多様な上演をおこなった。開幕を飾った「リア王の悲劇」は、藤田俊太郎演出により、芸術劇場＜ホール＞ならではの劇場空間を造形して上演され、主演の木場勝己が読売演劇大賞の最優秀男優賞と大賞を、演出の藤田俊太郎が芸術選奨演劇部門・文部科学大臣新人賞を受賞するなど、高い評価を受けた。また、国際共同制作「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」は、日英の俳優・スタッフが四つに組んでの協働により、出色の成果と高い評価を受け、出演者の一人である那須凜は紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞した。２月～３月にはスコットランドでも上演をおこない、絶賛を博した。今後、世界各地での上演も計画されており、神奈川から世界への文化芸術の発信となる。また今作は、長塚芸術監督の下で取り組んでいる「カイハツ」プロジェクトから、３年をかけて育った企画であり、今後の作品制作、人材育成、国際交流のモデルとなる事業であった。
- このほかに、韓国国立現代舞踊団との国際共同制作ダンス作品「黙れ、子宮」や、コンテンポラリーダンスとサイエンスの共演「まだここ通ってない」、若手実力派の劇作家、山本卓卓による書き下ろし戯曲の上演「愛と正義」など、芸術劇場ならではの同時代的な上演が続き、多様な鑑賞ニーズに応えるものとなった。
- 継続的に取り組んでいる「KAAT EXHIBITION」では、南条嘉毅によるインスタレーション「地中の渦」を実施した。横浜の地中に埋まっていた遺物や過去の生活具による展示は、堆積する時間を感じさせる､シアトリカルな美術展となった。
- 横浜国際舞台芸術ミーティング2024(YPAM2024)では様々な作品が上演され、特に、ドイツの振付家リチャード･シーガルと日本体育大学のコラボレーション「集団行動」は、舞台芸術の領域を広げる身体表現として、観客の強い関心を集めた。また前述の「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」「黙れ、子宮」は、YPAMの時期に合わせて上演をおこない、海外からの舞台芸術関係者へ紹介する機会となった。

・　長塚芸術監督の掲げる「ひらかれた劇場」を目指す取組も成果を上げた。自身の演出作品である「花と龍」では、元町SS会など近隣地域との協働により舞台上に屋台を出現させ、客席も巻き込む演出や熱演も相まって、観客に驚きと笑顔を届け、地域との繋がりを感じる場となった。同演目では、「やさしい鑑賞回」と題し、従来の劇場空間での芸術鑑賞に不安がある方々も安心して鑑賞できる上演も行い、インクルーシブネスの向上への新たな挑戦となった。
・　アーティストが創作のタネを探す「カイハツ」プロジェクトは試行を繰り返しながらも４年目に入り、令和７年度からはついに企画を公募することとなり、準備が進められている。また、舞台芸術が環境に配慮しながらより質の高い表現を生み出すことを考える場「グリーンシアター・ワークショップ」、国立劇場と連携して古典芸能を現代の舞台芸術そして観客に繋げる「つたえつなぐ」など、劇場から私たちの未来を見つめる事業に新たに取り組んだ。さらに、アトリウムを主たる会場とするフレンドシッププログラム、バックステージツアー、障がいのある方への鑑賞サポートなど、活用できるリソースを配分しながら、劇場を「ひらいて」いくための、また劇場の未来を考える取組を積み重ねている。
・　より多くの県民に足を運んでいただくための「神奈川県民割引」を、前年度に引き続き全ての主催事業で実施し、好評を得た。また、シーズンチケットや各種割引の実施、広報誌「KAAT PAPER」の発行、ウェブラジオである「RADIO KAAT」による発信にも引き続き取り組んだ。

**■ミッション「創造に挑む」**

［５事業／６演目（63公演）／１展覧会　入場者数等23,019人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>９月16日(月祝)<br>～10月３日(木) | ホール内特設会場 | KAAT神奈川芸術劇場プロデュース<br>「リア王の悲劇」<br>≪15公演≫ | 4,046 |
| ９月23日(月休)<br>～10月20日(日) | 中スタジオ | KAAT EXHIBITION 2024<br>南条嘉毅展｜地中の渦<br>≪１展覧会≫ | 3,371 |
| 11月28日(木)<br>～12月８日(日) | 大スタジオ | 日英国際共同制作　KAAT×Vanishing Point<br>「品川猿の告白　Confessions of Shinagawa Monkey」　≪10公演≫ | 1,738 |
| 令和７年<br>①２月22日(土)<br>～３月１日(土)<br>②３月６日(木)<br>～８日(土) | 海外公演　≪１演目≫<br><br>①スコットランド　グラスゴー公演　Tramway　≪６公演≫<br>②スコットランド　ダンディー公演　Dundee Rep　≪３公演≫ | | ①3,402<br>②1,287 |
| ２月８日(土)<br>～22日(土) | ホール | KAAT×新ロイヤル大衆舎vol.２<br>「花と龍」<br>≪14公演≫ | 4,961 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和７年<br>①３月１日(土)<br>～２日(日)<br>②３月８日(土)<br>～９日(日)<br>③３月15日(土)<br>～16日(日) | 巡回公演　≪１演目≫<br><br>①オーバード・ホール　中ホール　≪２公演≫<br>②兵庫県立芸術文化センター　阪急中ホール　≪２公演≫<br>③J:COM北九州芸術劇場　中劇場　≪２公演≫ | | <br><br>①543<br>②1,207<br>③940 |
| ２月21日(金)<br>～３月２日(日) | 中スタジオ | KAAT神奈川芸術劇場プロデュース<br>音楽劇「愛と正義」<br>≪９公演≫ | 1,524 |

**■ミッション「感動を分かち合う」**

［４事業／15演目（79公演）・９企画（50回）　入場者数等14,226人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>７月６日(土)<br>～７日(日) | 大スタジオ | KAATキッズ・プログラム2024<br>「ペック」from スコットランド<br>≪３公演≫ | 432 |
| ７月20日(土)<br>～28日(日) | 大スタジオ | KAATキッズ・プログラム2024<br>「らんぼうものめ」<br>≪11公演≫ | 2,007 |
| | 大スタジオ | 関連企画<br>バックステージツアー「らんぼうもののめのちいさな美術館」　≪１企画11回≫ | |
| ①８月４日(日)<br>②８月17日(土)<br>～18日(日) | 巡回公演　≪１演目≫<br><br>①いわき芸術文化交流館アリオス　中劇場<br>②まつもと市民芸術館　小ホール　≪２公演≫ | | <br>①370<br>②299 |
| KAATフレンドシッププログラム | | | |
| ４月７日(日) | アトリウム　ほか | 「クラウンパレード2024 in KANAGAWA 笑いで平和を」（共催）<br>≪１企画≫ | 250 |
| ①７月６日(土)<br>～７日(日)<br>②12月21日(土)<br>～22日(日) | アトリウム | 「KAATマルシェ」<br>≪１企画４回≫ | ①600<br>②500 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等<br>(人) |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>８月４日(日) | 大スタジオ | KAATキッズ・プログラム×KAATフレンドシッププログラム<br>「みんなのKAAT バックステージツアー for KIDS」 ≪１企画２回≫ | 33 |
| ①８月24日(土)<br>②９月24日(火)<br>③10月28日(月)<br>④11月10日(日)<br>⑤12月16日(月)<br>令和７年<br>⑥１月19日(日)<br>⑦２月17日(月)<br>⑧３月９日(日) | ホール | 「みんなのKAAT バックステージツアー」<br>≪１企画16回≫ | ①28<br>②37<br>③31<br>④25<br>⑤31<br>⑥33<br>⑦25<br>⑧31 |
| 令和６年<br>12月８日(日) | アトリウム | ＜YPAMフリンジ＞<br>Mirai Circus Network「日本現代サーカスネットワークMirai Circus Networkショーケース」 ≪１企画３回≫ | 200 |
| 令和７年<br>１月20日(月)<br>～２月25日(火) | アトリウム | 「横浜中華街 2025横浜春節祭 ランタンオブジェ展示」（自由公開）<br>≪１企画≫ | －<br>(※) |
| 提携公演 | | | |
| 令和６年<br>４月17日(水)<br>～21日(日) | 大スタジオ | TAK in KAAT<br>ヨルノハテのショーケース<br>①「水曜日の夜」<br>②「オオカミだ！」<br>③「はまべのうた」<br>≪３演目５公演≫ | 318 |
| ４月27日(土)<br>～５月６日(月休) | 大スタジオ、アトリウム ほか | Baobab PRESENTS「DANCE×Scrum!!!2024 」<br>① STAGE PROGRAM<br>② ATRIUM PROGRAM<br>≪２演目20公演≫<br>ACTIVITY PROGRAM<br>① WORKSHOP<br>② OUTDOOR<br>≪２企画12回≫ | 2,650 |
| ６月６日(木)<br>～９日(日) | 大スタジオ | 舞台「白蟻」<br>≪７公演≫ | 1,377 |
| ８月10日(土)<br>～11日(日祝) | 大スタジオ | TAK in KAAT<br>劇団横濱にゅうりくりあ創立40周年記念公演「マリア・ルーズ号の夏」<br>≪３公演≫ | 555 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>９月13日(金)<br>～16日(月祝) | 大スタジオ | 横浜夢座25周年・五大路子舞台生活50周年記念「富貴楼お倉」<br>～花のように、風のように、海のように～<br>横濱から日本を動かした女<br>≪５公演≫ | 1,061 |
| 10月11日(金)<br>～14日(月祝) | 大スタジオ | lal banshees「幽憬」another ver.<br>≪４公演≫ | 324 |
| 12月21日(土)<br>～22日(日) | 中スタジオ | ラオス×日本　ろう者と聴者が協同するアジアのオブジェクトシアター<br>「いのちあるもの　闇の中から/ສິ່ງທີ່ມີຊີວິດ ຈາກຄວາມມືດ」　≪２公演≫ | 189 |
| 令和７年<br>１月10日(金)<br>～19日(日) | 大スタジオ | た組「ドードーが落下する」<br>≪12公演≫ | 2,347 |
| １月25日(土)<br>～26日(日) | 大スタジオ | Co.山田うん2025新作「遠地点」<br>≪４公演≫ | 473 |

（※）アトリウムでの自由公開のため、入場者数はカウントしない

**■ミッション「つねに考える」**

［３事業／７演目（14公演）・12企画（28回）　入場者数等2,916人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>10月18日(金)<br>～20日(日) | ホール内特設会場 | KAAT×山田うん×池上高志<br>「まだここ通ってない」<br>≪３公演≫ | 351 |
| 横浜国際舞台芸術ミーテイング2024（YPAM2024） | | | |
| 12月５日(木)<br>～７日(土) | 中スタジオ | ＜YPAMディレクション＞<br>T:>Works「ディドーとエネアス」<br>≪３公演≫ | 275 |
| 12月５日(木)<br>～７日(土)、<br>12日(木)<br>～14日(土) | アトリウム | ＜YPAMディレクション＞<br>ナム・ファヨン「２」<br>≪１企画17回≫ | 200 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>12月７日(土)<br>～９日(月) | ホール | ＜YPAM連携プログラム＞<br>愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama<br>パフォーミングアーツ・セレクション2024<br>① Aプログラム<br>② Bプログラム<br>≪２演目４公演≫ | 1,093 |
| 12月11日(水)、<br>14日(土) | 中スタジオ | ＜YPAM連携プログラム＞<br>第６回HOTPOT東アジア・ダンスプラットフォーム<br>① HOTPOT Hong Kong<br>② HOTPOT Seoul<br>≪２演目２公演≫ | 238 |
| 12月14日(土) | ホール | ＜YPAMディレクション＞<br>リチャード・シーガル/バレエ・オブ・ディファレンス＋日本体育大学「集団行動」<br>≪２公演≫ | 548 |
| 「カイハツ」 | | | |
| ４月25日(木) | アトリエ | 戯曲カイハツ<br>「エウロペア」<br>≪１企画≫ | 11 |
| ７月16日(火)<br>～20日(土) | アトリエ | 創作プロセスカイハツ<br>「ボン・パーク＆原サチコによるワークショップ」　≪１企画≫ | 17 |
| ８月19日(月)<br>～25日(日) | 大スタジオ | カイハツ・ワークショップ<br>瀬戸内サーカスファクトリー×KAAT「現代サーカスのための技術創作ラボラトリー」（共催）<br>① ワークショップ<br>② 報告会<br>≪２企画２回≫ | ワークショップ　25<br>報告会　55 |
| ９月19日(木)、<br>26日(木) | アトリエ | 戯曲カイハツ<br>「The Jungle」を読む会<br>≪１企画≫ | 26 |
| 10月17日(木) | アトリエ | 戯曲カイハツ<br>「sexual misconduct of the middle classes」を聞く会　≪１企画≫ | 14 |
| 10月25日(金)<br>～11月４日(月休) | アトリエ | 企画・人材カイハツ<br>池内美奈子企画「アクティヴ・アナリシスを実践し、ウクライナ戯曲を読む」<br>≪１企画≫ | 17 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>11月１日(金) | アトリエ | 戯曲カイハツ<br>「Infinite Life」を読む会<br>≪１企画≫ | 7 |
| 12月18日(水)、<br>24日(火)<br>～27日(金) | アトリエ | 企画・人材カイハツ<br>目黒陽介企画「現代サーカスやパントマイムのパフォーマーによる演劇的作品の可能性を探る」 ≪１企画≫ | 20 |
| 令和７年<br>３月21日(金) | アトリエ | 戯曲カイハツ<br>ステファノ・マッシーニン「アイヒマン 夜の始まるところ」を聞く会 ≪１企画≫ | 10 |
| ３月23日(日) | アトリエ | 戯曲カイハツ<br>永井愛「カズオ」を聞く会<br>≪１企画≫ | 9 |

**■ミッション「未来につなぐ」**

［７事業／４演目（22公演）・15企画（15回） 入場者数等4,255人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| | | 「カイハツ」<br>（再掲 詳細はミッション「つねに考える」に記載。事業数、入場者数も「つねに考える」で計上） | （再掲） |
| 令和６年<br>５月24日(金)<br>～６月２日(日) | 中スタジオ | KAAT神奈川芸術劇場プロデュース<br>「ライカムで待っとく」<br>≪10公演≫ | 1,595 |
| ①６月７日(金)<br>～８日(土)<br>②６月15日(土)<br>③６月22日(土)<br>～23日(日) | 巡回公演 ≪１演目≫<br><br>①ロームシアター京都 サウスホール ≪２公演≫<br>②久留米シティプラザ 久留米座<br>③那覇文化芸術劇場なはーと 小劇場 ≪３公演≫ | | <br>①550<br>②205<br>③486 |
| 11月16日(土)<br>17日(日) | 中スタジオ | KAAT×国立劇場＜つたえつなぐ＞<br>「観てよみ解く～実演＆レクチャー～」<br>① 日本舞踊編<br>② 神楽編<br>≪２企画２回≫ | 95 |
| 令和７年<br>３月15日(土) | 中スタジオ | KAAT×国立劇場＜つたえつなぐ＞<br>「観てよみ解く～実演＆レクチャー～」<br>① 文楽 人形遣い編<br>② 文楽 太夫編<br>≪２企画２回≫ | 123 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>12月13日(金)<br>～15日(日) | 大スタジオ | KAAT×ケダゴロ×韓国国立現代舞踊団<br>「黙れ、子宮」<br>≪４公演≫ | 583 |
| KAAT人材育成事業 | | | |
| ６月10日(月) | 中スタジオ | 第１回グリーンシアター・ワークショップ<br>～持続可能な舞台芸術を目指して～<br>≪１企画≫ | 50 |
| ３月11日(火) | 中スタジオ | 第２回グリーンシアター・ワークショップ<br>～国内の舞台作品のサスティナブルな事例を学び、実践につなげる～<br>≪１企画≫ | 25 |
| ７月９日(火) | 大スタジオ | KAAT舞台技術講座2024<br>「実現するちから」を学ぶ～舞台映像編～<br>≪１企画≫ | 50 |
| 令和７年<br>１月21日(火) | ホール | KAAT神奈川芸術劇場×東京芸術劇場<br>KAAT舞台技術講座2025<br>「～舞台演出における無線制御と関連法令～<br>『技適』って何？」　≪１企画≫ | 77 |
| 令和６年<br>８月31日(土)<br>～９月16日(月祝) | 全館 | 2024年度　インターン<br>舞台技術コース<br>≪１企画≫ | 3 |
| 令和７年<br>２月19日(水) | ホール | リラックスパフォーマンスを考える<br>KAAT×新ロイヤル大衆舎vol.２「花と龍」<br>やさしい鑑賞回<br>≪１企画≫ | (334)<br>※人数は「花と龍」（創造に挑む）に含まれる |
| KAAT教育普及事業　教育機関連携 | | | |
| 令和６年<br>７月31日(水)<br>～８月２日(金) | 大スタジオ | 神奈川総合高等学校　夏季特別講座<br>「応用舞台技術」2024<br>①舞台技術体験プログラム　≪１企画≫ | 32 |
| ８月９日(金) | アトリエ | 神奈川総合高等学校　夏季特別講座<br>「応用舞台技術」2024<br>②講義　≪１企画≫ | 28 |
| 10月21日(月) | ホール | 神奈川総合高等学校　夏季特別講座<br>「応用舞台技術」2024<br>③施設見学　≪１企画≫ | 39 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>11月17日(日) | ホール | 大学連携<br>玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科<br>劇場接遇研修　≪１企画≫ | 14 |
| 11月25日(月) | ホール | 大学連携<br>名古屋芸術大学芸術学部芸術学科<br>施設見学およびレクチャー　≪１企画≫ | 12 |
| 共催事業 | | | |
| 令和７年<br>３月15日(土)<br>～16日(日) | 大スタジオ | かながわパフォーミングアーツアワード2025<br>ファイナル<br>≪２公演≫ | 288 |

**（その他の取組）**　　**事業数、入場者数等の統計カウントには含めない**

| 取組 | 内容 |
|---|---|
| KAAT神奈川芸術劇場×横浜中華街<br>タイアップ企画<br>チケット提示でお得なサービス | 芸術劇場にて上演される対象公演のチケット提示で、横浜中華街の参加店舗で割引などのお得なサービスが受けられるタイアップ企画を実施。対象公演を掲載したタイアップチラシを年に２回発行し、中華街各店に配架。劇場ホームページにも対象公演や店舗を掲載し告知を行った。 |
| アトリウム映像プロジェクト | 芸術劇場エントランスに広がるアトリウムに、巨大な映像を上映した。<br>①vol.27　佐藤雅晴《Hands》（2017）<br>期間：令和６年４月１日(月)～６月23日(日)<br>②vol.28　THE COPY TRAVELERS《THE COPY TRAVELERS のグリーン・ライト・ヨコハマ》（2024）<br>期間：令和６年６月24日(月)～９月17日(火)<br>③vol.29　南条嘉毅《余光の海》短編（2024）、《スズ・シアター・ミュージアムショートフィルム》（2022）<br>期間：令和６年９月19日(木)～11月８日(金)<br>④vol.30　倉知朋之介《ジャガイモ》（2024）<br>期間：令和６年11月10日(日)～12月26日(木)<br>⑤vol.31　原田郁《NESTED WORLD》（2024）<br>期間：令和６年12月27日(金)～令和７年３月27日(木)<br>⑥vol.32　安藤由佳子《Post 2025》（2006/2025）、《Notice》（2006）<br>期間：令和７年３月28日(金)～31日(月)（６月まで継続） |
| 第49回野毛大道芸での宣伝活動 | 第49回野毛大道芸にブースを出展し、広報誌（KAAT　PAPER）や公演チラシを配布。またオリジナルグッズが当たる抽選会を行い、劇場及び公演のプロモーションを行った。<br>実施日：令和６年４月20日(土)～21日(日) |

| 取組 | 内容 |
| --- | --- |
| 広報誌「KAAT PAPER」発行 | KAATの広報誌として「KAAT　PAPER」を年３回発行。長塚芸術監督が掲げる“劇場をひらく”取組の１つとして、毎号劇場そのものや舞台芸術の魅力を伝える特集企画を立て、芸術監督との対談や取材記事、主催公演のレビューなどを掲載した。<br><br>①2024春号　令和６年５月17日(金)<br>②2024秋号　令和６年９月15日(日)<br>③2024冬号　令和６年12月27日(金) |
| 横浜開港祭イベント<br>「ハマフェスY165」関連企画 | 横浜開港の歴史を伝える５つのエリア（馬車道、関内、山下公園通り、横浜中華街、元町・山手）が開催する開港イベント「ハマフェスY165」の関連企画として、KAAT神奈川芸術劇場のアトリウムで放映している「KAATアトリウム映像プロジェクトvol.27｜佐藤雅晴《Hands》」の鑑賞アートワークショップを実施した。また、令和６年５月24日(金)に開催された同フェスのオープニングセレモニーではKAAT神奈川芸術劇場が主催者として参加し、同セレモニー上で関連企画も紹介された。<br>実施日：令和６年５月25日(土)～26日(日) |
| 鑑賞機会の少ない子どもたちへのアプローチ<br>「子ども招待」 | オンライン小口寄付によるご支援をいただき、多くの子どもたちに劇場での鑑賞体験を届けるプロジェクトとして、神奈川県子ども家庭課、横浜市社会福祉協議会を通して、市内の児童養護施設やひとり親家庭、里親家庭等の子どもたちをKAATキッズ・プログラムの演劇公演に招待した。<br>①令和６年７月６日(土)<br>　KAATキッズ・プログラム2024「ペック」<br>　来場者：21名<br>②令和６年７月27日(土)<br>　KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」<br>　来場者：15名 |
| 神奈川県厚生福利振興会企画<br>県民教養講座「親子招待」 | 一般財団法人神奈川県厚生福利振興会の県民教養講座の企画として、神奈川県内に在住または神奈川県内の学校に通学する小学生とその保護者を対象に合計31組62名をKAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」公演に招待した。<br>実施日：令和６年７月21日(日)、27日(土) |
| メインシーズン「某」の展開 | ９月のメインシーズン開幕に合わせ、2024年度のシーズンタイトルである「某（なにがし）」のビジュアルを展開した。<br>また、メインシーズンに行われる複数公演の<br>チケットをセットで購入できる「シーズンチケット」を販売した。<br>・　令和６年７月15日(月祝)：シーズンチケット〈１期〉のチラシを発行<br>・　令和６年８月12日(月休)：外壁をメインシーズン仕様に貼替え<br>・　令和６年８月18日(日)：シーズンチケット〈２期〉のチラシを発行<br>・　令和６年９月15日(日)：アトリウム内フラッグをメインシーズン仕様（「某」）に吊替え<br>・　令和６年11月９日(土)：シーズンチケット〈３期〉のチラシを発行 |

| 取組 | 内容 |
| --- | --- |
| KAAT神奈川芸術劇場プロデュース<br>「リア王の悲劇」関連企画<br>朝日カルチャーセンター横浜 講座<br>「リア王の悲劇」を楽しむ | 朝日カルチャーセンター横浜教室にて、KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」の関連講座を実施した。翻訳の河合祥一郎氏と演出家の藤田俊太郎氏の対談企画など、作品の魅力と見どころを紹介した。<br>①対談　講師：河合祥一郎　藤田俊太郎<br>②プレレクチャー　講師：河合祥一郎<br>実施日：①令和６年９月２日(月)、②令和６年９月７日(土)<br>参加者人数：88名 |
| KAAT神奈川芸術劇場プロデュース<br>「リア王の悲劇」文化庁　劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 | 文化庁の劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業において、全公演を対象に小学生から18歳以下の子どもたち158名を無料招待した。また、同伴の保護者等については一般価格の半額でチケットを販売し、総勢86名の保護者が鑑賞した。<br>実施日：令和６年９月16日(月祝)～10月３日(木) |
| みなとみらい線沿線周遊<br>モバイルスタンプラリー | みなとみらい線沿線の各施設をめぐるスタンプラリーに参加し、劇場のプロモーションを行った。<br>実施日：令和６年10月１日(火)～24日(木)<br>来館人数：300名 |
| 第19回関内フード&ハイカラフェスタ | 第19回関内フード&ハイカラフェスタにブースを出展し、広報誌（KAAT PAPER）や公演チラシを配布。またオリジナルグッズが当たる抽選会を行い、劇場及び公演のプロモーションを行った。<br>実施日：令和６年11月３日(日祝) |
| 横浜春節祭2025<br>春節祭デジタルスタンプラリー | 「横浜中華街 横浜春節祭2025 ランタンオブジェ展示」の関連企画として、中華街エリアや横浜ベイエリアに54カ所に展示されたランタンオブジェを巡りながらデジタルスタンプをためるスタンプラリーのポイントとして参加した。<br>実施日：令和７年１月15日(水)～２月28日(金) |
| 横浜春節祭2025 W祈願獅子舞 | 中華の伝統芸能であり、神事として祝賀行事に欠かせない「獅子舞」。横浜春節祭2025では、新たな年が素晴らしい一年となるとともに、令和６年能登半島地震で被災された方々のご無事と早期復興の願いをこめて、W祈願獅子舞を披露した。<br>開催日：令和７年２月９日(日)<br>鑑賞者：約170名 |
| 2025年度KAAT神奈川芸術劇場<br>ラインアップ発表会 | 芸術監督・長塚圭史が対面にて2024年度の振り返りと2025年度の年間プログラムの概要を発表。各プログラムの演出家・作家からはビデオメッセージにてコメントを紹介した。<br>またシーズンチケット〈１期〉〈２期〉〈３期〉のうち、２期以上購入した方を対象として招待した。<br>開催日：令和７年３月18日(火)<br>参加人数：報道各社含め　44名 |

| 取組 | 内容 |
| --- | --- |
| 第36回文化講演会<br>「長塚圭史トークイベント『光と影の劇場』」 | 藤沢市民会館第２展示集会ホールにて長塚圭史芸術監督によるトークイベントを実施した。芸術監督として取り組んでいる事業や、劇場と芸術をより神奈川県民の方々に身近に感じていただくためのさまざまな試みについて紹介した。<br>主催：公益財団法人藤沢市みらい創造財団<br>講師：長塚圭史<br>実施日：令和７年３月22日(土)<br>参加人数：95名 |
| 長塚圭史芸術監督による<br>KAAT神奈川芸術劇場 RADIO KAAT | 芸術監督の長塚圭史が主催公演に関わるゲストを迎えて、作品の裏話や見どころをお話しするウェブラジオ「RADIO KAAT」を、YouTubeやPodcastによる収録配信で実施した。<br><br>特別編　インスタライブアーカイブ<br>公開日：令和６年４月27日(土)<br>出演：長塚圭史<br>vol.22　KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「ライカムで待っとく」<br>公開日：令和６年５月15日(水)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：兼島拓也、田中麻衣子<br>vol.23　KAATキッズ・プログラム2024「ペック」from スコットランド<br>公開日：令和６年７月４日(木)<br>出演：長塚圭史<br>vol.24　KAATキッズ・プログラム2024「らんぼうものめ」<br>公開日：令和６年７月18日(木)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：鞘師里保、安藤聖、金子岳憲<br>vol.25　KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」<br>公開日：令和６年９月11日(水)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：藤田俊太郎、宮川彬良<br>vol.26　KAAT EXHIBITION 2024「南条嘉毅展｜地中の渦」<br>公開日：令和６年９月23日(月休)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：大崎清夏<br>vol.27　KAAT×山田うん×池上高志「まだここ通ってない」<br>公開日：令和６年10月15日(火)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：川合ロン、飯森沙百合<br>vol.28　日英国際共同制作 KAAT×Vanishing Point「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」<br>公開日：令和６年11月12日(火)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：那須凜、伊達暁<br>vol.29　KAAT×ケダゴロ×韓国国立現代舞踊団「黙れ、子宮」<br>公開日：令和６年12月11日(水)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：下島礼紗<br>vol.30　KAAT×新ロイヤル大衆舎 vol.２「花と龍」<br>公開日：令和７年２月７日(金)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：福田転球、安藤玉恵、松田凌<br>vol.31　KAAT神奈川芸術劇場プロデュース　音楽劇「愛と正義」<br>公開日：令和７年２月18日(火)<br>出演：長塚圭史　ゲスト：山本卓卓、一色洋平 |

（受賞）　　事業数、入場者数等の統計カウントには含めない

| 賞名 | 内容 |
|---|---|
| 第32回　読売演劇大賞<br>大賞・最優秀男優賞 | 受賞者：木場勝己<br>受賞対象：KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」<br>（令和６年９月～10月上演）ほかにおける演技 |
| 第59回　紀伊國屋演劇賞<br>個人賞 | 受賞者：那須凛<br>受賞対象：日英国際共同制作 KAAT×Vanishing Point<br>「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」<br>（令和６年11月～12月上演）ほかにおける演技 |
| 令和６年度芸術選奨<br>演劇部門・文部科学大臣新人賞 | 受賞者：藤田俊太郎<br>受賞理由：KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」<br>（令和６年９月～10月上演）における演出 |
| 令和６年度芸術選奨<br>芸術振興部門・文部科学大臣賞 | 受賞者：丸岡ひろみ<br>受賞理由：横浜国際舞台芸術ミーティング（YPAM）のディレクターとして、舞台芸術の国際交流の発展と日本の舞台芸術を国内外に発信するプラットフォームの確立に尽力。 |

KAAT×新ロイヤル大衆舎 vol. 2
「花と龍」
令和７年２月８日(土)～22 日(土)
ホール
撮影：宮川舞子

## （３）音楽堂

・　音楽堂が実施した芸術文化事業は16事業／41演目（52公演）・34企画（36回）であり、入場者数等は30,963人であった。

・　令和６年11月４日に音楽堂は開館70周年迎えた。この期間を「開館70周年記念週間」として、11月２日に「音楽堂建築見学会」、３日に「音楽堂ファミリーデー」、４日は「開館70周年記念ガラコンサート　紅葉坂の四季」を開催し、公立施設としては日本で初めての本格的な音楽専用ホールの存在価値を全国にアピールする企画を行った。また、ホワイエを使ったアーカイブ展を実施。出演者のサイン帳や過去の公演チラシやポスターの掲示を行った。

・　フラッグシップとなる音楽堂室内オペラ・プロジェクトでは、濱田芳道指揮・オペラ『オルフェオ』を上演。兵庫県立芸術文化センターとアントネッロの３者共同制作で取り組み、オペラ制作の新たな可能性を見出す企画となった。

・　もう一つのフラッグシップ、音楽堂ヘリテージ・コンサートは４つの上演を行った。カナダ出身の２人のピアニストのデュオ・コンサート「２人のアムラン」は、２台ピアノと、それぞれのソロパートが両方楽しめる企画として好評を得た。ベルリンRIAS室内合唱団（共催）は、６年ぶりに来日した世界屈指の合唱団の来日とあり、満席となった。スティーブン・イッサーリスは2022年以来の２年ぶりの来日となり、「チェコ音楽とベートヴェン」をテーマにした音楽会を開催した。３月には実力派弦楽四重奏団として世界の第一線で活躍するベルチャ弦楽四重奏団とエベーヌ弦楽四重奏団の共演コンサートを行い、満席の観客の拍手喝采を浴びた。

・　「子どもと大人の音楽堂」シリーズでは、神奈川・横浜の地域課題の一つである多文化共生をテーマに、中国語、韓国語、英語、ポルトガル語などの言語サポーターや、地元当事者のグループによるパフォーマンスなどによる 「子どものための音楽堂　せかいはともだち！」を開催した。ジャンルレスな音楽やアートを楽しむ大人向けのエンタテインメントとして開催した「大人のための音楽堂　音楽堂のピクニック」は10組以上のアーティストが舞台や客席、ホワイエを使用し、延べ７時間に渡り様々なパフォーマンスを披露した。館内での出店や屋外のキッチンカーもあり、賑わいをみせた。

・　従来の表現・思考のスタイルにとらわれない新しい表現を紹介するシリーズ「新しい視点」では、公募プログラム「紅葉坂プロジェクト」で令和５年度に審査・採択した企画案の本公演を７月に実施するともに、令和７年度実施に向けた新たな企画公募・審査・ワークインプログレスを実施した。

・　その他、幅広い年齢層の県民合唱参加による「ヘンデル「メサイア」全曲」演奏会、教員に向けた「先生のためのアウトリーチ」、６名の学生のインターンシップを受け入れた「音楽堂＆県民ホール制作・広報インターン」、近隣施設と提携した「紅葉ケ丘まいらん」、多彩な共催事業の実施等の取組で、次世代の人材育成や、地域に開かれ音楽文化の振興をはかる公共ホールとしての役割を追求した。

■開館70周年記念週間

［１事業／２演目（２公演）・７企画（８回）　入場者数等1,568人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>10月31日(木)<br>～11月４日(月休) | 音楽堂 | アーカイブ展<br>≪１企画≫ | 336 |
| 11月２日(土) | 音楽堂 | 音楽堂建築見学会<br>≪１企画≫ | 303 |
| 11月３日(日祝) | 音楽堂 | 音楽堂ファミリーデー<br><br>ホール<br>「０歳からのはじめてのピアノ連弾コンサート」 | 275 |
| | | ホワイエ企画<br>① 楽器をつくるワークショップ<br>② バルーングリーティング<br>③ ぬりえ・お絵かきコーナー<br>④ 絵本と紙芝居の読み笑わせ<br>⑤ 音楽堂子どもスタッフ<br>≪５企画６回≫ | |
| 11月４日(月休) | 音楽堂 | 開館70周年記念ガラコンサート<br>紅葉坂の四季 | 654 |

■ミッション「創造に挑む」

［２事業／２演目（３公演）・５企画（６回）　入場者数等2,122人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 音楽堂室内オペラ・プロジェクト | | | |
| 令和７年<br>２月22日(土)<br>～23日(日) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>第７弾<br>濱田芳通＆アントネッロ　モンテヴェルディ<br>オペラ『オルフェオ』新制作<br>≪２公演≫ | 1,644 |
| 令和６年<br>11月16日(土) | ひらしん平塚文化芸術ホール | 関連企画<br>「400年前の音楽に出会おう！リコーダーワークショップ」<br>≪１企画２回≫ | 52 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>12月21日(土) | 昭和音楽大学 | 関連企画<br>昭和音楽大学公開講座「古楽の音楽づくりを体験する」<br>≪１企画≫ | 67 |
| 令和７年<br>１月９日(木) | 杜のホールはしもと | 関連企画<br>オペラ『オルフェオ』を読み解くワークショップ～バロックオペラへの誘い～　≪１企画≫ | 112 |
| シリーズ「新しい視点」 | | | |
| 令和６年<br>７月20日(土) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>紅葉坂プロジェクトVol.３ | 156 |
| 令和７年<br>３月８日(土) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>紅葉坂プロジェクトVol.４<br>ワークインプログレス（公開プレゼンテーション）<br>①　＃１　Ravel Unveiled ラヴェル・アンヴェイルド<br>②　＃２　ゼッタイ絶体絶対音感主義者<br>≪２企画２回≫ | 91 |

**■ミッション「感動を分かち合う」**

［７事業／31演目（41公演）・１企画（１回）　入場者数等25,099人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 音楽堂ヘリテージ・コンサート | | | |
| 令和６年<br>９月14日(土) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>２人のアムラン　デュオリサイタル | 629 |
| 12月８日(日) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>スティーブン・イッサーリス　チェロリサイタル | 644 |
| 令和７年<br>３月29日(土) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>ベルチャ弦楽四重奏団＆エベーヌ弦楽四重奏団 | 802 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 音楽堂ヘリテージ・コンサート（共催公演） | | | |
| 令和６年<br>11月28日(木) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>ベルリンRIAS室内合唱団 | 929 |
| 11月27日(水) | 音楽堂 | 関連企画<br>特別ワークショップ<br>≪１企画≫ | 125 |
| 音楽堂ホリデーアフタヌーンコンサート（共催公演） | | | |
| ４月21日(日) | 音楽堂 | 石田泰尚(ヴァイオリン) ＆山本裕康(チェロ)<br>デュオ・リサイタル | 974 |
| ５月26日(日) | 音楽堂 | 葵トリオ | 813 |
| ６月16日(日) | 音楽堂 | 神尾真由子　無伴奏ヴァイオリン・リサイタル | 946 |
| ７月13日(土) | 音楽堂 | 辻彩奈＆阪田知樹　デュオ・リサイタル | 922 |
| ９月28日(土) | 音楽堂 | 山根一仁＆阪田知樹　デュオ・リサイタル | 648 |
| 10月20日(日) | 音楽堂 | 小林海都　ピアノ・リサイタル | 456 |
| 11月17日(日) | 音楽堂 | 及川浩治　ピアノ・リサイタル | 656 |
| 12月１日(日) | 音楽堂 | ジャン＝ギアン・ケラス　無伴奏チェロ・リサイタル | 846 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和７年<br>１月13日(月祝) | 音楽堂 | 石田泰尚＆松田弦　デュオ・リサイタル | 1,046 |
| ３月22日(土) | 音楽堂 | 中野翔太　ピアノ・リサイタル | 628 |
| MUSIC DAY in KANAGAWA（共催公演） | | | |
| 令和６年<br>５月31日(金) | 音楽堂 | 日・韓・独共同プロジェクト「イリャン・チャンの肖像」 | 369 |
| ９月21日(土) | 音楽堂 | 「メタ・クセナキス」 | 300 |
| その他共催公演 | | | |
| ４月20日(土) | 音楽堂 | 第47回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 | 500 |
| ４月29日(月祝) | 音楽堂 | 第40回かながわ音楽コンクール<br>ユースピアノ部門　本選 | 500 |
| ５月19日(日) | | 第40回かながわ音楽コンクール<br>ヴァイオリン部門　本選 | 500 |
| ５月18日(土) | 音楽堂 | 神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会<br>音楽堂シリーズ「Classic　Modern」第29回 | 630 |
| ６月８日(土)<br>～９日(日)、<br>22日(土)<br>～23日(日) | 音楽堂 | 第67回神奈川県合唱祭<br>≪４公演≫ | 2,900 |
| ７月６日(土) | 音楽堂 | 神奈川フィルハーモニー管弦楽団<br>音楽堂シリーズ「Classic　Modern」第30回 | 816 |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>８月17日(土)<br>～18日(日) | 音楽堂 | 第67回神奈川県合唱コンクール<br>≪２公演≫ | 2,720 |
| ８月31日(土) | 音楽堂 | 第33回神奈川オペラフェスティバル’24<br>第１夜オペラ『不思議の国のアリス』 | 618 |
| ９月29日(日) | | 第33回神奈川オペラフェスティバル’24<br>第２夜ガラコンサート | 376 |
| 10月１日(火)<br>～４日(金) | 音楽堂 | 第63回「音楽堂・おかあさんコーラス」<br>≪４公演≫ | 1,110 |
| 11月21日(木)<br>～24日(日) | 音楽堂 | 第38回ヨコハマコンペティション<br>≪４公演≫ | 600 |
| 11月30日(土) | 音楽堂 | 第58回　神奈川県名流三曲祭 | 100 |
| 令和７年<br>１月11日(土) | 音楽堂 | 神奈川フィルハーモニー管弦楽団<br>音楽堂シリーズ「Classic　Modern」第31回 | 796 |
| １月22日(水) | 音楽堂 | 団地コーラス発表会 | 300 |
| ２月11日(火祝) | 音楽堂 | 第47回神奈川県合唱フェスティバル＆第43回ジュニア合唱祭 | 900 |

■ミッション「つねに考える」

［１事業／２企画（２回）　入場者数等64人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 街なかトークカフェ | | | |
| 令和６年<br>８月９日(金) | 音楽堂 | ＃ピアノ・デュオ<br>ピアノ・デュオと四手連弾は何が違う？－19世紀の音楽文化について<br>≪１企画≫ | 27 |
| 令和７年<br>１月15日(水) | 音楽堂 | ＃オペラ<br>オペラ界きっての売れっ子キャラ！オルフェオの魅力をさぐる<br>≪１企画≫ | 37 |

■ミッション「未来につなぐ」

［５事業／６演目（６公演）・19企画（19回）　入場者数等2,110人］

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>５月18日(土) | 音楽堂 | 神奈川県立音楽堂×神奈川フィルハーモニー管弦楽団<br>小中高生のための公開リハーサル<br>≪１企画≫ | 25 |
| ７月６日(土) | | 神奈川県立音楽堂×神奈川フィルハーモニー管弦楽団<br>小中高生のための公開リハーサル<br>≪１企画≫ | 60 |
| 令和７年<br>１月11日(土) | | 神奈川県立音楽堂×神奈川フィルハーモニー管弦楽団<br>小中高生のための公開リハーサル<br>≪１企画≫ | 71 |
| 子どもと大人の音楽堂 | | | |
| 令和６年<br>８月３日(土) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>子どものための音楽堂　せかいはともだち！<br><br>①　音と絵本とオサカナと<br>②　あまくま島々おきなわメロディー<br>≪２演目２公演≫ | 588 |
| | | ホワイエ企画<br>①　クメールダンス<br>②　カポエイラ<br>③　いろいろな国の絵本のへや<br>④　文化紹介、せかいのあそびコーナー<br>≪４企画４回≫ | |

| 開催日 | 会場 | 公演名・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>10月12日(土) | 音楽堂 | 開館70周年記念<br>大人のための音楽堂　音楽堂のピクニック<br><br>音楽ライブ<br>① 角銅真実×曽我大穂「タコとダブのピクニック」<br>② 寺尾紗穂<br>③ 小西遼×100人のコーラス隊×象眠舎<br>≪３演目３公演≫ | 352 |
| | | トーク、ホワイエ企画等<br>① オープニングコーラス<br>② トーク：ハラサオリ×下西風澄「シンクロする身体」<br>③ 平均化体操ワークショップ@ホワイエ<br>④ トーク：荻田泰永（北極冒険家）<br>⑤ 平均化体操ワークショップ<br>⑥「森と氷と月のうた」上村洋一によるサウンドインスタレーション<br>⑦ ハラサオリ×「窓」<br>≪７企画７回≫ | |
| ８月27日(火)<br>～９月24日(火) | 音楽堂 | 音楽堂&県民ホール制作・広報インターン<br>≪１企画≫ | 7 |
| 12月15日(日) | 音楽堂 | 開館70周年記念／第57回クリスマス音楽会<br>ヘンデル「メサイア」全曲 | 909 |
| 音楽堂アウトリーチ | | | |
| ７月３日(水) | 鎌倉市立小坂小学校 | 先生のためのアウトリーチ<br>鎌倉市学校教育研究会<br>≪１企画≫ | 25 |
| ８月19日(月) | 南足柄市立南足柄中学校 | 先生のためのアウトリーチ<br>足柄上郡中学校教育研究会教科部音楽科<br>≪１企画≫ | 16 |
| ８月26日(月) | 小田原市立三の丸小学校 | 先生のためのアウトリーチ<br>小田原市・足柄下郡小学校<br>≪１企画≫ | 38 |
| 令和７年<br>１月16日(木) | 音楽堂 | 先生のためのアウトリーチ<br>映像収録<br>≪１企画≫ | 19 |

音楽堂室内オペラ・プロジェクト第７弾
濱田芳通&アントネッロ　モンテヴェルディ
オペラ『オルフェオ』新制作
令和７年２月 22 日(土)～23 日(日)
撮影：ヒダキトモコ

# ２．施設運営・利用者サービス 公１ 収１ 収２

## （１）県民ホール

### ア　芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公１

・　令和６年度の利用率は、大ホール86.6%、小ホール85.7%、大会議室80.4%、ギャラリー83.9%であった。
・　利用率は昨年同様各施設ともコロナ禍以前の水準まで回復した。また、入場者数は、537,864人で、令和５年度実績より増加した。利用料収入は、236,383千円で、令和５年度を下回ったが、休館前の主催共催事業の実施に伴う公演数増加によるものである。休館前最終年度においても、高い利用率と入場者数を維持することができた。
・　今年度も主に老朽化による設備の障害発生頻度が高く、エレベータの不具合、会議室や小ホール内のアンプの不具合、休館直前にも施設内で雨漏りが発生するなど、催事に影響を及ぼしかねない状況もあったが、迅速に対応し３月最終日まで慎重に施設設備管理等を行った。
・　運営面においては、利用者ニーズに応え、多様化する催し物の特性に合わせて利用時間や南口玄関の開扉時間を柔軟に運用するなど利用者サービスの向上に引き続き努めた。
・　会場案内においては、子どもから高齢者、障がいのある方々など様々な来場者にきめ細やかな対応を行い、高齢者や足の不自由な方に対しての業務用エレベータによる案内や、大ホール主共催公演での３階席へのエレベータの直通運転を継続して行った。

### イ　県民ホールの施設を活用する事業 収２

・　公益目的の利用が見込まれない場合は、大・小ホール、会議室の機能を生かした各種大会、講演会、会議等の利用を促し、その収益を公益目的事業の財源に充当した。

### ウ　駐車場の運営等 収１

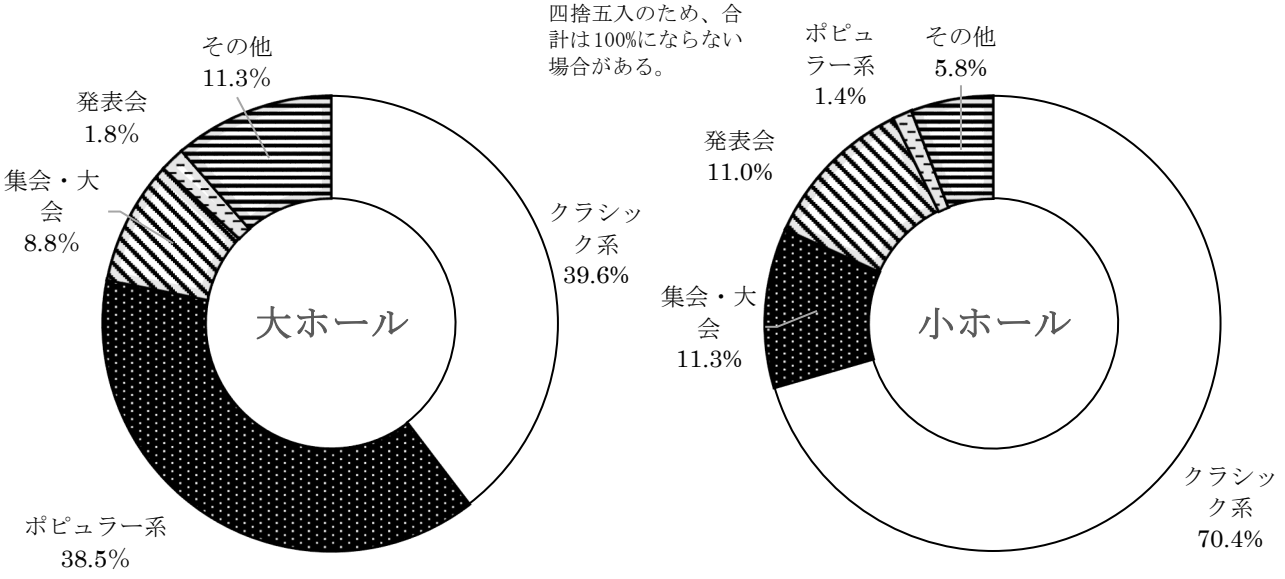
・　自動車来館者のための駐車場の管理運営業務を行った。障がい者対応として、引き続き来館の際の事前予約を実施し、サービスの向上を図った。

◆ 主要施設別利用状況　　※その他施設…小会議室、リハーサル室等

| | | 大ホール | 小ホール | 大会議室 | ギャラリー | その他施設 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 年間日数 | | 365日 | 365日 | 365日 | | |
| 休館日数 | | 6 日 | 6 日 | 7 日 | | |
| 保守点検日数 | | 37日 | 31日 | 17日 | | |
| 利用可能日数　A | | 322日 | 328日 | 341日 | 延べ室数　1,705室 | |
| 利用日数 | 主催事業 | 37日 | 78日 | 41日 | 延べ室数　488室 | |
| | 共催事業 | 39日 | 13日 | 8 日 | 延べ室数　122室 | |
| | 一般利用 | 203日 | 190日 | 225日 | 延べ室数　820室 | |
| | 計　B | 279日 | 281日 | 274日 | 1,430室 | |
| 空き日　A－B | | 43日 | 47日 | 67日 | 275室 | |
| 利用率　B／A | | 86.6% | 85.7% | 80.4% | 83.9% | |
| 入場者数 | | 421,405人 | 34,597人 | 16,867人 | 56,918人 | 8,077人 |
| 合計入場者数 | | 537,864人 | | | | |
| 利用料金収入 | | 236,382,649円 | | | | |

◆ジャンル別利用状況

※小数点以下第２位四捨五入のため、合計は100%にならない場合がある。




◆令和６年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等

令和７年度に休館するため、大きな施設設備修繕・改修等は実施しなかった。

（その他の取組）

| 取組名 | 内容 |
| --- | --- |
| 「ありがとう神奈川県民ホール」に係る施設の取組 | 令和７年１月17日(金)に開館50周年を迎えた県民ホールは、休館前の１カ月間を「ありがとう神奈川県民ホール」と称し、主催共催公演を実施するともに、お客様を迎えるにあたり、以下の取組を実施した。<br><br>・　50周年記念グッズを製作し、喫茶匠音にて販売（県民ホールの写真をデザインしたステッカーとありあけ製ハーバーとをセットにしたもの、ポストカード、クリアファイル）<br>・　２階共通ロビー内に、開館から50年間の年表や県民ホールスタッフや来場者の「思い出のひと時」を募集し、開館当初から長い間発行していた過去の催し物予定表と併せて掲示<br>・　１階南玄関ロビーで、開館当時の映像を放映<br>・　３月31日(月)に正面玄関広場で、閉館時間に合わせ音楽を流しながら県民ホールの開館当初の映像をおりまぜプロジェクションマッピングを投影。また、建物のライトを徐々に消灯する演出を実施。<br>・　３月31日(月)限定で来場者に県民ホールオリジナル記念シールを無料配布 |

開館から 50 年間の年表や過去の催し物予定表、ポスター等を展示
撮影：岩田えり

50 周年記念グッズ：ステッカーと焼き菓子セット、ポストカード、クリアファイル

## （２）芸術劇場

### ア　芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公１

・　令和６年度は、安全・安心に観劇ができる取り組みを維持しつつ、コロナ禍からの脱却をはかり、以前と変わらぬ観劇環境をつくることができた１年となった。令和６年度のホール利用率は97.7%の高さで推移し、年間総入場者数もコロナ禍以前の水準に復調した。
・　劇団四季の特定長期貸館では、７年ぶりにミュージカル「オペラ座の怪人」を再び迎え、連日の大盛況で11万人超の集客となり、県民への鑑賞機会の提供と賑わいをもたらした。
・　利用者に居心地のよい空間を提供できるよう、コロナ禍でしばらく停止していた飲食の提供（ビュッフェサービス）を、劇団四季公演より再開した。秋以降は、神奈川県の文化施設託児サービス拡充事業に伴い、従来の主催公演だけでなく提携・共催公演でも託児サービスを積極的におこない、来館者へのサービス向上に努めた。
・　ホールにおいては、バルコニー席や３階席からの舞台の見え方についてお客様からご意見をいただくことが大変多かったため、４月より「KAATバーチャルツアー（360° VR体験）」という劇場空間の３Ｄウォークスルーをホームページで閲覧できるシステムを導入した。事前に座席からの見え方を簡単にWeb上で確認でき、チケット購入の検討にも役立てるため大変好評を博しており、座席に関するお問い合わせの数が大幅に減少するなど効果が大きかった。
・　施設の維持管理においては、主要な委託業務を近接する県民ホールと一体的に運用することで効率化に努めるとともに、利用状況に対応した設備点検計画を作成し、効率的な業務実施体制を整備した。ホール吊物機構や舞台照明・音響設備の更新の時期となり、ホールを半月程度、大スタジオを１ヵ月半閉め、県と綿密に連携を取りながら部品交換等の改修を行い、快適な劇場空間の維持に努めた。
・　合同施設の管理組合構成員であるNHK横浜放送局や県とは定期協議の場を設け、アトリウムの利用調整を図り、合同施設一体となった対応を行った。

### イ　芸術劇場の施設を活用する事業 収２

・　令和６年度は、学術会議や講演会などの公益目的以外の一般利用はなかった。

### ウ　駐車場の運営等 収１

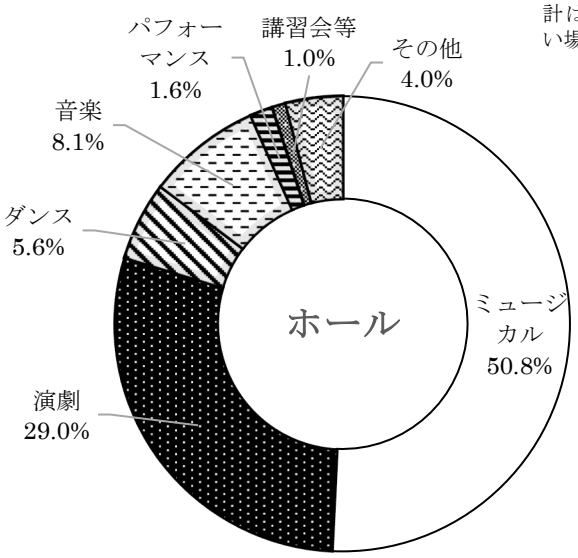
・　地下駐車場の管理運営を行った。駐車場構内や自動二輪駐輪場の写真をホームページに掲出し、屋内駐車場であることの安心感等をアピールし、周辺の屋外コインパーキングとの差別化を図るとともに、当日上限料金の適用などを継続し利用促進に努めた。

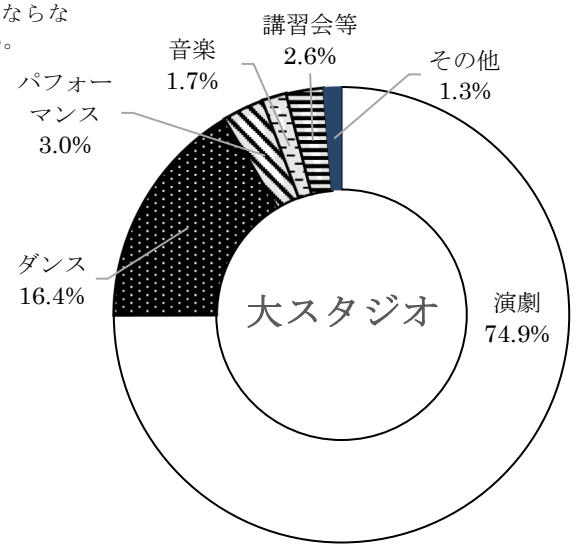
◆主要施設別利用状況　　※その他施設…中スタジオ、小スタジオ、アトリエ等

| | | ホール | 大スタジオ | その他施設 |
|---|---|---|---|---|
| 年間日数 | | 365日 | 365日 | |
| 休館日数 | | 5日 | 8日 | |
| 保守点検日数 | | 49日 | 58日 | |
| 利用可能日数　A | | 311日 | 299日 | |
| 利用日数 | 主催事業 | 89日 | 87日 | |
| | 共催事業 | 0日 | 14日 | |
| | 提携事業 | 0日 | 65日 | |
| | 一般利用 | 215日 | 66日 | |
| | 計　B | 304日 | 232日 | |
| 空き日　A－B | | 7日 | 67日 | |
| 利用率　B／A | | 97.7% | 77.6% | |
| 入場者数 | | 184,986人 | 28,965人 | 25,259人 |
| 合計入場者数 | | 239,210人 | | |
| 利用料金収入 | | 217,965,084円 | | |

◆ジャンル別利用状況

※小数点以下第２位四捨五入のため、合計は 100%にならない場合がある。



**◆令和６年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等**

・　ホールPAブース改修工事

概要：ホール客席通路横にあるPAブース周辺の段差を安全に歩行できるように、手摺を新設した。また、客席通路側の段差部分に設置する既設PAブースパネルの振れ止めとパネル増設をおこなった。パネルの自立性を高めてPA卓を堅固なパネルで囲むことで、ホール来場者がPAブース脇を通行する際にパネルを手摺として触っても安全に利用できるように改修した。

契約金額：990,000円

**（その他の取組）**

| 取組名 | 内容 |
|---|---|
| 避難体験 in KAAT ＃２<br>《お笑いライブ》<br>～爆笑で劇場が揺れる？いいえ、これは、地震訓練です～ | 有観客でおこなう避難体験公演の第二弾。お笑いライブの公演中に大きな地震と火事が発生した想定のもと、劇場内すべての避難階段を使用し、500名を超えるお客様とともに実際に避難する訓練をおこなった。観客のほか、出演者・舞台スタッフ、車いすや障がいをお持ちのお客様の避難もおこない、非常時における行動に何が大事かを再確認し、危機意識を高めるよい機会となった。<br><br>開催日：令和７年１月27日(月)<br>会場：ホール<br>出演：GAG、ダイタク、シシガシラ、カゲヤマ、いぬ<br>入場者数：569名 |

## （３）音楽堂

### ア　芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公１

・　利用率は、コロナ禍前かつ平成30年度改修休館以前の水準（平成27～29年度：84.9～92.6%）に戻り、ようやくコロナ禍から脱却した感があるが、今後も継続的な努力が必要である。[利用率：４年度83.1%→５年度84.0%→６年度86.9%]
・　施設面の大きな工事はなかったが、各設備や部品の経年劣化が見られ、８月にＴ型コンセント交換工事、２～３月に音響卓・三点吊りマイク更新工事を行った。また、11月に突然防犯カメラのモニターが映らなくなり、３月にアナログシステムのまま更新工事を行った。（デジタル化は別途長期修繕計画の項目として挙がっている。）
・　「前川建築見学ツアーin音楽堂」は、ボランティアグループbridgeにツアーガイドを務めてもらう等の実施協力を得て開催。参加者が少人数に分かれ、Bridgeスタッフが丁寧な説明と対話で館内を回るツアーは例年好評を得ている。また、建築のみならずＣＤ鑑賞の時間を設け、音の響きも体感してもらう等、音楽ホールならではの取り組みも行った。県指定重要文化財でもある当館の特徴を今後も多くの人々に広めて行く。
・　開館70周年を記念し、多くの公演やイベントを開催した。（「その他の取組」に詳細記載）
・　紅葉ケ丘公立文化施設５館の連携活動、通称「紅葉ケ丘まいらん」では、令和７年１月にスタンプラリーを中心とした合同イベントを実施した。紅葉ケ丘の文化ゾーンに建つ文化施設が連携することにより、住民との交流を通して地域の活性化、さらには新たな顧客獲得につなげて行く。（「その他の取組」に詳細記載）

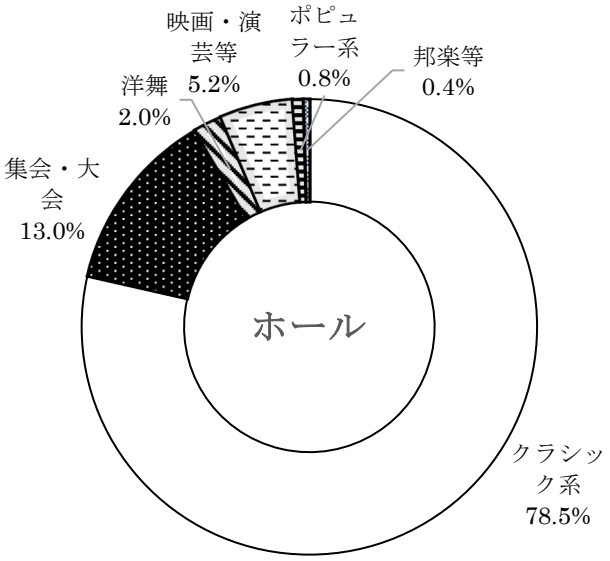
### イ　音楽堂の施設を活用する事業 収２

・　公益目的の利用（芸術文化に係る公演等）が見込まれない場合は、ホールを講演会あるいは研修会などのための利用に貸し出し、その収益を公益目的事業の財源に充当した。近年、ホワイエ等建物の空間を使った雑誌や広告の撮影の要望が増えており、こうした例も含めて利用料の増に寄与するよう活用している。

◆ 施設利用状況

| | | ホール |
|---|---|---|
| 年間日数 | | 365日 |
| 休館日数 | | 51日 |
| 貸出不能日 | | 31日 |
| 利用可能日数　A | | 283日 |
| 利用日数 | 主催事業 | 42日 |
| | 共催事業 | 37日 |
| | 一般利用 | 167日 |
| | 計　B | 246日 |
| 空き日　A－B | | 37日 |
| 利用率　B／A | | 86.9% |
| 入場者数 | | 109,453人 |
| 利用料金収入 | | 31,684,550円 |

◆ジャンル別利用状況




※小数点以下第2位四捨五入のため、合計は100%にならない場合がある。

◆令和６年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等

・　ウォシュレット交換工事

概要：２階楽屋側女子トイレのウォシュレットが使用不可になり、交換修理を行った。

契約金額：137,500円

・ USBバッテリー等交換工事

概要：空調設備関連の部品が経年劣化したため、部品交換修理を行った。

契約金額：330,000円

・ オストメイト温水器交換工事

概要：ホワイエの共用トイレに設置しているオストメイトが故障のため、修理した。

契約金額：211,607円

・ 空調機フィルター交換

概要：新型コロナ対応だった高性能フィルターが劣化もあり、通常仕様に交換した。

契約金額：462,000円

**（その他の取組）**

| 取組 | 内容 |
|---|---|
| 開館70周年記念週間の取組 | 音楽堂は令和６年11月４日に開館70周年を迎えた。記念週間として、10月31日から11月４日まで下記のイベントを行った。<br><br>① アーカイブ展<br>70年保管されている資料の中からポスターやプログラムをホワイエに展示した。<br>② 建築見学会<br>例年行っている「前川建築見学ツアー」にピアノとヴァイオリンのミニコンサートを加え、演奏も楽しんでいただいた。<br>③ ファミリーデー<br>ホールでは０歳からの連弾コンサート、ホワイエにては楽器を作成ワークショップ、塗り絵、絵本読み聞かせイベントを行った。<br>④ 記念ガラコンサート「紅葉坂の四季」<br>音響を活かしたクラシック公演<br><br>また、記念グッズ（ハガキ・ファイル）を作成し、公演（紅葉坂の四季）や建築見学ツアーの来館者に配布した。 |

| 取組 | 内容 |
| --- | --- |
| 紅葉ケ丘まいらん（紅葉ケ丘５館連携事業）<br><br>（連携館）<br>神奈川県立音楽堂、神奈川県立図書館、神奈川県立青少年ギャラリー、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリー | ①５館合同イベント<br>令和７年１月11日（土）～26日（日）に合同イベントとして、「横浜・紅葉ケ丘まいらんスタンプラリー」を開催した。連携５館に加え、伊勢山皇大神宮も特別参加し、６か所を巡るスタンプラリーのほか、各館それぞれの日程で館の特徴を生かした様々なイベントが展開された。<br><br>②音楽堂でのイベント<br>音楽堂では令和７年１月15日（水）に「街なかトークカフェ」として２月に開催するオペラ「オルフェオ」の魅力を語る講座、19日（日）には青少年センターで行われた「子どもフェスティバル」の関連事業として、「紅葉ケ丘まいらん おもしろクイズ！～音であそぼう！」を開催し、地域活性化の一助となった。<br><br>③５館合同でパンフ・チラシ等を作成<br>地域のさんぽマップを掲載したパンフ、スタンプラリーができるイベント告知チラシ等を作成した。各施設が知恵を出し合い、人々が近隣地域を周遊しやすいようなイベントやスタンプラリー＆プレゼントを企画、広報を行った。 |

# ３．本部事業、その他事業 公１ 収２ 法人

## （１）社会連携ポータル部門 公１

### ア　社会連携ポータル事業

財団のミッション「感動を分かち合う」、「未来につなぐ」の達成のため、専門人材育成プログラム、学校教育へのアプローチ、あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ、地域との連携を強化する機能の４つのアプローチで、各館事業と協働し取組を進めた。令和６年度は、これまでの３年間の取組を継続しつつ、鑑賞サポートを軸としたインクルーシブアプローチや人材育成の領域において新たな試みを行うなど、取組の拡大や発展を目指して活動を進めた。また、これらの新たな試みや鑑賞機会が少ない子どもたちの公演への招待において、地域のさまざまな団体と協力し、連携を進めることができた。社会や地域の課題解決に向けて、芸術文化や文化施設に求められている役割は大きく、誰もが芸術文化に親しむことができる環境構築の必要性は増している。神奈川県民ホールの休館に伴い、財団がより積極的に県民にアプローチする機会が増えることが想定される中、引き続き社会と芸術をつなぐ窓口＝ポータルとなるべく、当部門に望まれる役割、活動を模索していく。

**■社会連携ポータルの取組**

※県民ホール、芸術劇場、音楽堂の３館共通の取組であり、各施設の芸術文化事業と重複した項目は、再掲としている。

**① 専門人材育成プログラム**

舞台芸術・劇場運営分野の専門人材育成

| 開催日 | 取組名 | 人数等 |
|---|---|---|
| 令和６年<br>６月10日(月) | KAAT人材育成プログラム<br>第１回「グリーンシアター・ワークショップ～持続可能な舞台芸術を目指して～」 | 50 |
| ７月９日(火) | KAAT舞台技術講座2024<br>「実現するちから」を学ぶ ～舞台映像編～ | 50 |
| 11月26日(火) | 「きこえない・きこえにくい方とのコミュニケーション講座」 | 19 |
| 令和７年<br>１月21日(火) | KAAT神奈川芸術劇場×東京芸術劇場<br>KAAT舞台技術講座2025～舞台演出における無線制御と関連法令～<br>『技適』って何？ | 77 |
| ３月11日(火) | KAAT人材育成プログラム<br>第２回「グリーンシアター・ワークショップ～国内の舞台作品のサスティナブルな事例を学び、実践につなげる～」 | 25 |

インターン・研修生の受け入れ

| 開催日 | 取組名 | 人数等 |
|---|---|---|
| 令和６年<br>８月27日(火)<br>～９月24日(火) | 2024年度神奈川県立音楽堂&神奈川県民ホール<br>制作・広報インターン | 7 |
| ８月31日(土)<br>～９月16日(月祝) | 2024年度KAATインターン<br>舞台技術コース | 3 |

教育機関との連携による人材育成

| 開催日 | 取組名 | 詳細 | 人数等 |
|---|---|---|---|
| 令和６年<br>①11月17日(日)<br>②11月25日(月) | KAAT大学連携 | ①玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科　劇場接遇演習<br>②名古屋芸術大学芸術学部芸術学科舞台芸術領域　施設見学及びレクチャー | ①14<br>②12 |
| 12月25日(水)、<br>27日(金) | 昭和音楽大学大学院寄付講座 | 「音楽マネジメント特殊講義Ⅵ」 | 12 |

**②学校教育へのアプローチ**

教育現場へのアプローチ

| 開催日 | 取組名 | 詳細 | 人数等 |
|---|---|---|---|
| 令和６年７月<br>～令和７年１月 | 神奈川県立音楽堂<br>「先生のためのアウトリーチ」 | ●先生のためのアウトリーチ<br>講師：若鍋久美子、松浦華子（打楽器）、鳴海碧（ピアノ）<br>①７月３日(水)<br>会場：鎌倉市立小坂小学校<br>②８月19日(月)<br>会場：南足柄市立南足柄中学校<br>③８月26日(月)<br>会場：小田原市立三の丸小学校<br>●映像製作<br>講師：宮内康乃（作曲家）、アシスタント３名<br>④１月16日(木)<br>会場：音楽堂 | ①25<br>②16<br>③38<br>④19 |
| 令和６年<br>７月～10月 | 神奈川総合高等学校<br>舞台芸術科<br>講座受け入れ | ●２年次授業「応用舞台技術」<br>①７月１日(月)<br>事前レクチャー<br>講師：堀内真人（芸術劇場支配人）<br>②７月31日(水)～８月２日(金)<br>舞台技術の体験プログラム<br>③８月９日(金)<br>講義<br>講師：堀内真人（芸術劇場支配人）<br>●１年次校外学習<br>④10月21日(月)<br>芸術劇場施設見学、レクチャー<br>講師：堀内真人（芸術劇場支配人） | ①27<br>②32<br>③28<br>④39 |

### ③あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ

あらゆる人々が芸術文化に親しみ、楽しむことができるための取組

| 開催日 | 取組名 | 詳細 |
|---|---|---|
| 令和６年<br>４月26日(金) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ　オルガン・プロムナード・コンサートvol.405 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成、事前説明会 |
| ５月29日(水)<br>～30日(木) | 鑑賞サポート（聴覚・字幕支援）／KAAT：KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『ライカムで待っとく』 | 耳のきこえない・きこえにくい方のための公演事前説明会の実施、台本貸出、ポータブル字幕タブレット貸出、受付での手話通訳・筆談対応 |
| ６月１日(土) | 鑑賞サポート（聴覚）／県民ホール：オープンシアター2024　リラックスパフォーマンス『くるみ割り人形』（ダイジェスト版） | ヒアリングループ席の設置、受付での手話通訳・筆談対応 |
| ６月１日(土) | 鑑賞機会の少ない子どもたちへのアプローチ／県民ホール：オープンシアター2024　リラックスパフォーマンス『くるみ割り人形』(ダイジェスト版) | 神奈川県子ども家庭課、横浜市社会福祉協議会、神奈川子ども未来ファンドを窓口に、ひとり親家庭、里親家庭等の招待 |
| ６月１日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：オープンシアターオルガン・コンサート(オルガン見学付き) | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成、事前説明会 |
| ７月５日(金)、<br>６日(土) | 鑑賞サポート（聴覚）／県民ホール：NDT（ネザーランド・ダンス・シアター）Japan Tour 2024 神奈川公演 | 耳のきこえない・きこえにくい方向けに、ヒアリングループ席の設置 |
| ７月６日(土) | 鑑賞機会の少ない子どもたちへのアプローチ／KAAT：KAATキッズ・プログラム2024『ペック』 | 神奈川県子ども家庭課、横浜市社会福祉協議会を窓口に、ひとり親家庭、里親家庭等の招待 |
| ７月６日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：神奈川県立音楽堂×神奈川フィハーモニー管弦楽団　小中高校生のための公開リハーサル | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| ７月20日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：神奈川県立音楽堂開館70周年記念　シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクト Vol.３ | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |

| 開催日 | 取組名 | 詳細 |
| --- | --- | --- |
| 令和６年<br>７月 | 鑑賞サポート（聴覚）／KAAT：KAATキッズ・プログラム2024『らんぼうものめ』 | ①７月20日(土)～28日(日)<br>耳のきこえない・きこえにくい方向けに、ヒアリングループ席の設置、ネックループの貸出し、受付での筆談対応、イヤーマフ、耳栓の貸出し |
| | | ②７月27日(土)、28日(日)<br>①に加え、受付での手話通訳、ポータブル字幕タブレットの貸出し |
| ７月27日(土) | 鑑賞機会の少ない子どもたちへのアプローチ／KAAT：KAATキッズ・プログラム2024『らんぼうものめ』 | 神奈川県子ども家庭課を窓口に、ひとり親家庭、里親家庭の招待 |
| ８月３日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：『子どものための音楽堂 せかいはともだち!』 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| ８月17日(土) | 鑑賞サポート（聴覚）／県民ホール：神奈川県民ホール開館50周年舞台芸術講座 青島広志&水野英子の「少女マンガ界とオペラ界」－ワーグナーに焦点をあてて!－ | 耳のきこえない・きこえにくい方向けに、ヒアリングループ席の設置 |
| ８月 30 日(金) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ　オルガン・プロムナード・コンサート vol.406 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成、事前説明会 |
| ９月 14 日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：「２人のアムランデュオリサイタル　マルク＝アンドレ・アムラン&シャルル・リシャール＝アムラン」 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| 10 月 25 日(金) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ　オルガン・プロムナード・コンサート vol.407 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成、事前説明会 |
| 11 月２日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：「建築見学会」 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| 11 月３日(日祝) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：「音楽堂ファミリーデー」 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |

| 開催日 | 取組名 | 詳細 |
| --- | --- | --- |
| 令和６年<br>11 月４日(月休) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：開館 70 周年記念ガラコンサート「紅葉坂の四季」 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| 11 月 16 日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ 中田恵子オルガンリサイタル | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成。 |
| 11 月 28 日(木)<br>～12 月８日(日) | 鑑賞サポート（聴覚）／KAAT：日英国際共同制作 KAAT×Vanishing Point『品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey』 | 日本語・英語の字幕を舞台正面上部に投影（全公演） |
| 12 月８日(日) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガンクリスマスコンサート 《J.S.バッハのクリスマス》 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| 12 月 14 日(土) | 鑑賞サポート（聴覚）／KAAT：KAAT×ケダゴロ×韓国国立現代舞踊団『黙れ、子宮』 | 耳のきこえない・きこえにくい方向けに、ヒアリングループ席の設置 |
| 令和７年<br>１月 11 日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：神奈川県立音楽堂×神奈川フィハーモニー管弦楽団 小中高校生のための公開リハーサル | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| １月17日(金) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガン・プロムナード・コンサート vol.408 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成、事前説明会 |
| ２月８日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ 《オルガン avec シリーズ vol.３》オルガン avec テアトル | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| ２月 | 鑑賞サポート（聴覚）・やさしい鑑賞回／KAAT：KAAT×新ロイヤル大衆舎 voL2『花と龍』 | ①2 月 8 日(土)～22 日(土)<br>耳のきこえない、きこえにくい方向けにヒアリングループの設置・受信機の貸出、ワイヤレスガイドイヤホンの貸出、筆談対応、イヤーマフ・サングラス・フィジエツトトイの貸出 |
| | | ②鑑賞サポート回 2 月 14 日(土)、15 日(日)<br>①に加え、事前説明会の開催、ポータブル字幕タブレットの貸出、手話による受付対応、Al による文字情報の提供、上演台本の貸出 |

| 開催日 | 取組名 | 詳細 |
| --- | --- | --- |
| 令和７年<br>２月 | 鑑賞サポート（聴覚）・やさしい鑑賞回／KAAT：KAAT×新ロイヤル大衆舎 voL2『花と龍』 | ③やさしい鑑賞回 2 月 19 日(水)<br>①、②（事前説明会、AI 文字情報を除く）に加え、照明・音響の調整、上演中の出入り自由、ゆったりエリア（クッションフロア、モニター）、カームダウンスペース（２カ所）、看護師配置 |
| ２月 22 日(土)<br>～23日(日祝) | 鑑賞サポート（視覚）／音楽堂：室内オペラ・プロジェクト　濱田芳通&アントネッロ モンテヴェルディオペラ『オルフェオ』新制作 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの作成 |
| ３月８日(土) | 鑑賞サポート（聴覚）／県民ホール：共生共創事業横須賀シニア劇団「よっしゃ!」レトロシアター『あおげあおげ』「かさじぞう』 | 耳のきこえにくい方向けにワイヤレスガイドイヤホンの貸出、イヤーマフの貸出 |
| ３月８日(土) | 鑑賞サポート（視覚・聴覚）／県民ホール：Jewels from MIZUKA 2025 ジュエルズ・フロム・ミズカ 2025 | 耳のきこえにくい方向けにヒアリングループ席の設置。目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストを作成、イヤーマフの貸出 |
| ３月８日(土) | 鑑賞機会の少ない子どもたちへのアプローチ／県民ホール：Jewels from MIZUKA 2025　ジュエルズ・フロム・ミズカ 2025 | 神奈川県子ども家庭課を窓口に、ひとり親家庭、里親家庭等の招待 |
| ３月９日(日) | 鑑賞サポート（聴覚）／県民ホール：共生共創事業精神障害を考える　演劇ワークショップ・プロジェクト『IKIZAMA ミュージックぱーていー』 | 耳のきこえにくい方向けにヒアリングループ席の設置、イヤーマフの貸出 |
| ３月９日(日) | 鑑賞サポート（その他）／県民ホール：県民ホール鑑賞サポート技術フェス～鑑賞サポートの現在～ | さまざまな製品の体験や専門家によるトークセッションを通じて、鑑賞サポートの技術について考えるイベントの実施、ヒアリングループ席の設置 |
| ３月15日(土) | 鑑賞サポート（視覚・聴覚）／県民ホール：共生共創事業チャレンジ・オブ・ザ・シルバー『Largo』 | 耳のきこえにくい方向けにヒアリングループ席の設置。目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストを作成、イヤーマフの貸出、フィジェットトイの貸出 |
| ３月16日(日) | 鑑賞サポート（視覚・聴覚）／県民ホール：神奈川県吹奏楽フェスティバル | 耳のきこえにくい方向けにヒアリングループ席の設置。目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストを作成、イヤーマフの貸出、フィジェットトイの貸出 |

| 開催日 | 取組名 | 詳細 |
|---|---|---|
| 令和７年<br>３月22日(土)、<br>23日(日) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：C×Baroque　大塚直哉が誘うバロックの世界 vol. 4 | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストを作成 |
| ３月 22 日(土)<br>23 日(日) | 鑑賞機会の少ない子どもたちへのアプローチ／県民ホール：C×Baroque　大塚直哉が誘うバロックの世界 vol. 4 | 横浜市社会福祉協議会を窓口に、ひとり親家庭、里親家庭等の招待 |
| ３月29日(土) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：音の記憶・空間の記憶・オルガンコンサート | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストを作成 |
| ３月29日(土) | 鑑賞機会の少ない子どもたちへのアプローチ／県民ホール：音の記憶・空間の記憶・オルガンコンサート | 神奈川県子ども家庭課、横浜市社会福祉協議会を窓口に、ひとり親家庭、里親家庭等の招待 |
| ３月31日(月) | 鑑賞サポート（視覚）／県民ホール：ありがとう神奈川県民ホール　フィナーレコンサート | 目のみえない・みえにくい方向けに、点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストを作成 |

**④地域との連携（県域ネットワーク等）**

神奈川県全体の広域的なネットワーク化をすすめ、芸術文化の情報交換のハブとして機能する取組

| 開催日 | 取組名 | 詳細 |
|---|---|---|
| 令和６年<br>７月23日(火) | 令和６年度 第１回アーツカウンシル・ネットワークミーティング | 日本芸術文化振興会主催の第１回アーツカウンシルネットワーク・ミーティングに出席。アーツカウンシルネットワークの活動目標と役割の明確化が中核的な検討事項とされ、グループに分かれて、課題共有のディスカッションが行われた。(会場：日本芸術文化振興会会議室) |
| ９月30日(月) | 令和６年度 第２回アーツカウンシル・ネットワークミーティング | 第２回アーツカウンシルネットワーク・ミーティングに出席。アーツカウンシルネットワークの活動目標と役割の明確化に向けて、アーツカウンシルしずおかの事例紹介や、「コーディネート」、「情報集積・発信」等をテーマにしたグループディスカッションが行われた。（会場：静岡コンベンションアーツセンター グランシップ） |
| 令和７年<br>１月21日(火) | 令和６年度 第３回アーツカウンシル・ネットワークミーティング | 第３回アーツカウンシルネットワーク・ミーティング。第１回、第２回の結果を踏まえて、アーツカウンシル・ネットワークの役割提示、来年度の取組に関する具体的なアイディア出しと整理が行われた。（オンライン開催） |

## イ　共生共創事業（県からの受託事業）

・　神奈川県の「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与するため、文化芸術の分野に

おいても、「ともに生きる ともに創る」を目標に、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まですべての人が、舞台芸術に参加し楽しめる、県の事業「共生共創事業」を令和６年度も継続して受託した。県民参加型企画やワークショップの実施に重点を置き、県内各地で多面的に展開した。また、実際に企画に参加することができない人や出向くことができない地域にも、共生共創事業を知ってもらうため、映像制作と情報発信にも取り組み、「ともに生きる ともに創る」を実現するための本来の活動に取り組むことができた。

- 共生社会の推進に資する県域の文化資源等の調査を実施し、調査報告を作成した。
- 県の補助金交付団体の実施する文化事業の現地確認を行うなど、補助金交付に関する運営事務の補助・助言等を行った。
- 令和７年３月には、神奈川県民ホールの休館に伴うクロージングイベント「ありがとう神奈川県民ホール」の一環として「共生共創フェスティバル」を実施し、共生共創事業の公演や展示、ワークショップを行った。

**■共生共創事業**

| 開催日 | 会場 | 公演・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| （１）シニア劇団の運営 | | | |
| かながわシニア創作創造プロジェクト　横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」 | | | |
| 令和６年<br>６月８日(土) | 横須賀市立<br>青少年会館 | 説明会 | 15 |
| 令和７年<br>３月８日(土) | 県民ホール<br>小ホール | 共生共創フェスティバル　レトロシアター<br>『あおげあおげ』『かさじぞう』 | 102 |
| かながわシニア創作創造プロジェクト　綾瀬シニア劇団Hale | | | |
| 令和６年<br>12月７日(土)、<br>８日(日) | 綾瀬市<br>オーエンス文化会館 | 第５回公演<br>『Hale版　父の詫び状』 | 234 |
| かながわシニア創作創造プロジェクト　小田原シニア劇団チリアクオールディーズ | | | |
| ５月19日(日) | 小田原市<br>観光交流センター | 説明会 | 10 |
| 令和７年<br>２月22日(土) | 小田原市生涯学習<br>センターけやき | 『切れ端のパレード』 | 58 |

| 開催日 | 会場 | 公演・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| （２）シニアダンス企画「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」の運営 | | | |
| かながわシニア創作創造プロジェクト　「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」 | | | |
| 令和６年<br>①５月２日(木)<br>②５月16日(木)<br>③６月20日(木)<br>④７月25日(木) | 孝道山　孝順ホール<br><br>※④は大広間で実施 | シニアダンスワークショップ | ①41<br>②40<br>③51<br>④54 |
| 11月29日(金) | 葉山町福祉文化会館 | チャレンジ・オブ・ザ・シルバー　ダンスワークショップ<br>in 葉山 | 47 |
| 令和７年<br>１月24日(金) | 湯河原町防災コミュニティセンター | チャレンジ・オブ・ザ・シルバー　ダンスワークショップ<br>in 湯河原 | 50 |
| ３月15日(土) | 神奈川県民ホール<br>大ホール | 共生共創フェスティバル<br>『Largo』 | 850 |
| （３）障がい者や高齢者等参加の舞台公演を含む良質な内容の舞台公演やシンポジウムの企画・実施 | | | |
| スプラウト×若鍋久美子「音の探検隊2024 in 平塚」 | | | |
| 令和６年<br>９月18日(水) | 障害児・者・家族サポート事業所<br>スプラウト | 「音の探検隊2024 in 平塚」<br>ワークショップ | 26 |
| 10月28日(月) | グループホーム<br>ユミト | 「音の探検隊2024 in 平塚」<br>ワークショップ | 11 |
| 11月26日(火) | 社会福祉法人至泉会ソーレ平塚 | 「音の探検隊2024 in 平塚」<br>ワークショップ | 26 |
| 令和７年<br>１月14日(火) | 平塚栗原ホーム | 「音の探検隊2024 in 平塚」<br>ワークショップ | 26 |
| １月30日(木) | studio COOCA | 「音の探検隊2024 in 平塚」<br>ワークショップ | 26 |

| 開催日 | 会場 | 公演・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|
| 令和７年<br>２月９日(日) | ひらしん平塚文化芸術ホール<br>多目的ホール | 参加型音楽イベント「あつまれ！音の探検隊2024 in 平塚」 | 145 |
| 神奈川県あそび歌プロジェクト『世界のうたとあそぼう!』 | | | |
| 令和６年<br>９月11日(水) | 川崎市ふれあい館・桜本こども文化センター | 『世界のうたとあそぼう！』<br>ワークショップ | 48 |
| 令和７年<br>２月５日(水) | レクチャー映像及びデジタルリーフレットの配信（かなチャンTV) | 『世界のうたとあそぼう！』<br>スリランカのあそび歌「カルンカゲディヤ」 | 587 |
| ３月５日(水)<br>～９日(日) | 神奈川県民ホール<br>ギャラリー | 『世界のうたとあそぼう！』<br>展示 | 201 |
| ３月８日(土) | 神奈川県民ホール<br>ギャラリー | 『世界のうたとあそぼう！』<br><br>ワークショップ | 39 |
| 精神障害を考える演劇ワークショッププロジェクト | | | |
| 令和６年<br>①11月５日(火)<br>②11月11日(月)<br>③11月12日(火) | 紫雲会横浜病院 | 「精神障害を考える演劇ワークショッププロジェクト」<br>ワークショップ（３回) | ①27<br>②23<br>③21 |
| 令和７年<br>①１月22日(水)<br>②１月25日(土)<br>③１月29日(水) | 武田病院 | 「精神障害を考える演劇ワークショッププロジェクト」<br>ワークショップ（３回) | ①33<br>②33<br>③29 |
| ３月９日(日) | 神奈川県民ホール<br>小ホール | 『IKIZAMAミュージックぱーてぃー』 | 203 |
| 「みんなのスマイル・コンサート」 | | | |
| 令和６年<br>９月６日(金) | 横須賀市文化会館 | 「みんなのスマイル・コンサート」 | 155 |

| 開催日 | 会場 | 公演・企画名 | 入場者数等（人） |
|---|---|---|---|

（４）その他の取組

| | |
|---|---|
| 共生共創通信の発行 | ①第18号　令和６年11月27日(水)発行<br>巻頭特集：壁を取り払うことで、人と人は混じり合う<br>②第19号　令和７年２月13日(木)発行<br>巻頭特集：子どもたちの挑戦を可能にする場づくり |

（５）調査研究業務

共生社会の実現や未病等を意識した魅力的なコンテンツの創出と発信を行い、共生社会の実現に寄与することを目指すためには、神奈川ゆかりのアーティスト、演目、文化イベント等の文化資源を見出し、今後の事業に活用していく必要がある。そのため、舞台芸術に関する専門人材を用いて、共生社会の実現又は未病を意識した舞台公演等が可能なコンテンツを幅広く調査・発掘した。

①横浜・川崎地域　３件(横浜市３件)
②横須賀三浦地域　１件(横須賀市１件)
③県央地域　１件(相模原市１件)
④湘南地域　１件(茅ヶ崎市１件)
⑤県西地域　１件(小田原市１件)
⑥その他地域　３件(東京都２件、埼玉県１件)
合計10件

（６）神奈川県内の文化事業に対する助言や実施確認等

ア　演劇等の舞台公演の実施者としての知見を生かし、発注者の求めに応じて、神奈川県の補助金交付団体等の実施する文化事業の現地確認等を行い、神奈川県の共生共創事業における今後の実施可能性等も含めて発注者に報告・助言等を行った。(文化芸術活動団体事業補助金５件、マグカル展開促進補助金５件、全10件)

イ　神奈川県内の文化団体等に対し、神奈川県の共生共創事業の周知及び神奈川県の文化プログラム認証の活用に向けた普及・啓発活動を行った。

## （２）県域の芸術文化財団への業務協力 法人

当財団は、公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団から、当該財団が鎌倉芸術館の指定管理業務を行うに当たり、業務協力の依頼を受けた。当該財団への業務協力は、県域における芸術文化の振興の一助となることから、当財団は、令和４年４月から引き続き、鎌倉芸術館に対する業務協力を行った。

・相手先：公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団
・内　容：鎌倉芸術館の管理運営協力
・方　法：当財団企画制作作品の提供

## （３）芸術文化に関する情報の収集提供 公１

・　情報誌「神奈川芸術プレス」を９月と３月の２回発行した（※）。読者に芸術文化への親しみをより感じてもらうため、内容は財団の主催事業に限らず企画した。県域の芸術文化情報、文化施設の取組、様々な領域のアーティストへのインタビュー、舞台芸術の世界を支えるスタッフの紹介などバラエティに富む内容で発行した。また芸術文化と社会の架け橋になる取組として社会的関心の高いインクルーシブ関連の事例についても昨年度に引き続き紹介した。

※３月発行号については、令和６年12月に発生した外部からのサイバー攻撃の影響により、発行内容と時期を変更し、WEB版のみを令和７年５月に公開した。

・　９月発行号では開館50周年を迎えた神奈川県民ホールをテーマにとりあげ、アーティストをはじめこれまでホールに関わってきた多方面の方に取材を行い、幅広い読者層に訴求できた。配架については県内の公共施設、駅広告ラックや書店、音楽教室などを中心に、県域全体に行き渡るよう配慮した。アンケートも実施しているため、読者のニーズを分析し、今後の配架場所や冊子内容にも生かしていく。紙面と同時に制作しているウェブ版については、より広い読者に届けることができるようSNSによる発信も強化していく。

【情報誌「神奈川芸術プレス」】

| 内容 | |
|---|---|
| 特集 | 連載 |
| 【令和６年９月発行 vol.165】<br>(A４判　18,000部発行)<br>[特集] つくり、届け、つないできたもの―神奈川県民ホールの50年<br>● 50年の歩み 年表<br>● 大ホール「芸術のまちを育てたホール」<br>小ホール「オルガン・アドバイザーからのことば」<br>ギャラリー「県民ホールギャラリー開館50年をふりかえる」<br>● 「カナケン」とポップミュージック：栗原治久インタビュー<br>● コラム：沼野雄司<br>● アーティストインタビュー：平原慎太郎、やなぎみわ<br>● メッセージ：県民ホールゆかりの皆様より「50周年に寄せて」 | ● アートシーンプレイバック：2024年上半期の美術プログラムをふりかえる<br>● つなぐ――「世界のうたとあそぼう！」in第22回あやせ国際フェスティバル<br>● 公演の舞台裏：竹井祐樹（舞台監督） |
| 【令和７年３月発行 vol.166】<br>令和６年12月に発生した外部からのサイバー攻撃の影響により、発行内容を「連載」企画のみに縮小。また発行形態および時期を変更し、WEB版のみを令和７年５月に公開した。 | ● アートシーンプレイバック：2024年下半期の演劇プログラム、教育普及プログラムをふりかえる<br>● つなぐ――社会と芸術　みんなのスマイル・コンサート<br>● 公演の舞台裏：オルガン技術者編　八木田 淳 |

## （４）かながわメンバーズの運営 公1

・　芸術文化の普及、鑑賞機会の提供の拡充を目指し、インターネットを利用して24時間チケットの予約・購入が可能な無料の会員登録制度「かながわメンバーズ（KAme）」を運営し、情報提供やサービス提供を行った。

・　２週間に１回の定期メールマガジン配信（※）及び随時行う臨時配信による最新のチケット発売情報などの提供とともに、会員限定の先行予約サービスを実施した。令和６年度のかながわメンバーズ新規登録者数は14,761人、年度末時点での会員総数は147,610人であった。

※　令和６年12月に発生した外部からのサイバー攻撃の影響により通信環境が制限されていることから12月および令和７年１月は配信を中止。２月に臨時配信を２度行った。

## （５）チケットかながわの運営及び団体販売等の促進 公1

・　県民ホール・芸術劇場・音楽堂で開催される主催、共催、提携、貸館公演等のチケット販売を行うためにチケットセンターの運営を行った。併せて主催公演の票券管理補助業務を行

った。インターネットと電話による通信販売に加え、３館での窓口販売を行った。電話販売においては、単にチケットを販売するにとどまらず、公演や会場周辺に関する情報の提供、会場のアクセス情報、各種セット割引等の案内、各種鑑賞サポートの案内、インターネットによる購入方法の説明なども行い利用者サービスの向上を図った。

・　令和５年度からは、すべての主催公演においてチケットレスに対応している。

・　主催公演チケットの販売促進の一環として、各種団体・会員組織向けのインターネットを利用した割引販売を継続して行った。

## （６）資金調達活動 公1

事業内容や広報活動等の一層の充実のため、国庫補助金や助成金など外部資金の獲得に努め、さらに広く当財団の活動趣意に賛同いただける企業・個人からの支援をいただくための活動を行った。

### ア　文化庁等からの補助金・助成金の確保

文化事業、広報活動及び人材育成等の充実を図るため、日本芸術文化振興会（文化庁）「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」補助金、一般財団法人地域創造及び民間の助成団体等、助成金の確保に積極的に努めた。

【令和６年度獲得実績】

| 助成団体等 | | 件数 | 金額（千円） |
|---|---|---|---|
| 日本芸術文化振興会（文化庁）「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」 | 劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業 | 1 | 45,353 |
| | 地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業 | 1 | 25,533 |
| 日本芸術文化振興会（文化庁）「舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）」 | 国際共同制作公演（国内公演） | 1 | 3,294 |
| 文化庁 | 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 | 1 | 1,890 |
| 地域創造 | 地域の文化・芸術活動助成事業 | 2 | 13,269 |
| ロームミュージックファンデーション　ほか | 民間助成団体等の助成金 | 8 | 5,900 |
| 合計 | | 14 | 95,239 |

### イ　賛助会員制度の運営

・　賛助会員の新規入会や継続について積極的に働きかけ、年間を通じた財団運営や事業制作に対して、多くの法人・個人の方よりご寄付をいただいた。

・　賛助会員への特典として、主催公演への招待、館内芳名板・ホームページ・配布プログラム等への芳名掲載、「神奈川芸術プレス」の送付、KAmeメールマガジン配信、チケットの割引販売、会員限定イベントへの招待などを行った。

【会員数・寄付金額】

| 種別 | 会員数 | 寄付金額（千円） |
|---|---|---|
| 法人賛助会員 | 46社 | 5,000 |
| 個人賛助会員 | 18人 | 510 |
| 永年個人賛助会員 | ２人 | 0 |
| 合計 | | 5,510 |

≪賛助会費を経費の一部に充てて開催された公演等≫

「オープンシアター2024」「らんぼうものめ」「子どもと大人の音楽堂」「音楽堂アウトリーチ」等に充当した。

### ウ　その他協賛金等の獲得

賛助会員による年間を通した支援とは別に、公演や事業を特定した協賛、財団が主催する事業全般への寄付、各種広報媒体への広告等、様々な手法による支援をいただいた。またオンライン小口寄付を芸術劇場、音楽堂で実施し、その他の寄付等と合わせて多くの個人の方より御支援をいただいた。

【個別協賛・その他】

| 対象事業 | 件数（者） | 合計金額（千円） |
|---|---|---|
| KAAT EXHIBITION 2024 南条嘉毅展｜地中の渦 | 2 | 400 |
| KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「リア王の悲劇」 | 1 | 350 |
| 日英国際共同制作 KAAT × Vanishing Point<br>『品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey』<br>KAAT×新ロイヤル大衆舎 vol.２「花と龍」 | 1 | 250 |
| 音楽堂主催事業全般 | 1 | 200 |
| 県民ホール企画展「眠れよい子よ よい子の眠る／ところ」 | 1 | 100 |
| 一般寄付、オンライン小口寄付等 | 72 | 612 |
| 合計 | 78 | 1,912 |

【広告協力】

| 内容 | 法人数（社） | 金額（千円） |
|---|---|---|
| 広告協力 | 4 | 200 |
| 合計 | 4 | 200 |

## （７）管理組合の運営業務受託 収2

芸術劇場及び日本放送協会横浜放送会館合同施設のうち、指定された敷地・建物の清掃、保全、保守、植栽、じん芥処理及び消毒業務等の施設維持管理業務を行った。あわせて、アトリ

ウムでのイベントに関する芸術劇場の公演等との調整や、日本放送協会と芸術劇場共用の搬入車路の調整など、合同施設全体の各種の利用調整を行った。

## （８）法人本部の運営 法人

理事会・評議員会等の運営、事業評価の実施、職員の資質向上のための研修の実施、県主導第三セクター及び公益法人の運営に関すること（総務、経営企画、人事、会計、県との連絡調整等）などを行った。

### ア　理事会・評議員会等の実施状況

・　理事会

| | |
|---|---|
| 令和６年６月５日(水) | 第１回通常理事会 |
| ６月20日(木) | 第１回臨時理事会 |
| 10月31日(木) | 第２回臨時理事会 |
| 令和７年３月５日(水) | 第２回通常理事会 |

・　評議員会

| | |
|---|---|
| 令和６年６月20日(木) | 定時評議員会 |
| 令和７年３月18日(火) | 第１回臨時評議員会 |

### イ　職員研修

財団本部による新入職員研修、労務研修、フリーランス法研修、産業医によるソーシャルスキルトレーニング研修、リスペクトトレーニング研修を行ったほか、個人情報保護研修、防火防災研修、自衛消防隊研修、障害者差別解消法研修、衛生推進者養成研修、公益法人会計研修、ハラスメント相談担当者研修、カスタマーハラスメント対策研修等に職員を派遣し研修を行った。また全国公立文化施設協会、神奈川県公立文化施設協議会、日本プライバシー認証機構等が実施するオンライン研修の機会を積極的に活用した。

### ウ　事業評価(外部評価の実施状況)

・　令和５年度事業評価状況

外部評価員(委嘱)　５人

実地見学実施事業数　29事業

事業評価会議の実施　令和６年10月３日(木)

・　令和６年度事業評価状況

外部評価員(委嘱)　６人

実地見学実施事業数　26事業

### エ　寄付講座

財団本部の事業として、昭和音楽大学大学院の令和６年「音楽マネジメント特殊講義Ⅵ」に当財団が出講（寄付講座）し、当財団職員が分担して教壇に立つなど、12月に計15コマ（４日間）の授業を行った。

## ４．その他

○　12月１日(日)に、当財団のサーバーが外部からのサイバー攻撃に遭い、財団情報システムが大きな被害を受けた。ネットワーク環境を遮断するなどの措置を行ったことから、施設運営や本部事業の一部に支障が出たが、公演事業や施設の運営がとまらないよう対応を行った。今後、強固なセキュリティ対策を施した新たなシステムの早期構築に向けた取組を行い、今回のような被害を繰り返し受けることが無いよう、万全なセキュリティ対策を施していく。

○　令和７年１月、財団本部と県民ホールの両事業所を対象とした労働基準監督署の調査が行われた。２月12日(水)、財団は、労働基準監督署から支給額が確定している年俸額のうち一部を割増賃金の基礎となる賃金に算入していないことなどに関する是正勧告及び財団が職員の労働時間の把握方法について、現在の自己申告制よりも適正な把握に向けた方策を講じることなどに関する改善指導を受けた。対応として、４月末に割増賃金の基礎額への不算入に伴う手当の不足額を過去３年間に遡及して支払った。また、労働時間の把握について、パソコンなどから出退勤の打刻を登録する勤怠システムの運用を今後開始するなど順次改善を行っていく。

※２ページ以降の凡例（公１、収１、収２、及び法人）は、公益認定及び会計上の分類を示す。
◆公益目的事業
公１　芸術文化事業及びそのための施設運営に関する事業、芸術文化の情報収集提供、調査研究及び人材育成
◆収益事業
収１　駐車場の運営等に関する事業
収２　大会、集会、会議等芸術文化以外の施設運営に関する事業
◆法人会計
法人　法人の運営に関すること

（参考資料）

## 第４期指定管理（令和３年度～令和７年度）における財団の理念、ミッション

【財団の「理念」と３つの「視点」】

１．財団の理念

〇私たちは、その想像力と創造性を活用し、芸術文化の価値を高めます。

〇私たちは、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。

２．３つの「視点」（財団の理念に次の３つの視点を持って向きあっていきます）。

視点１「革新性」：革新的な思考や活動を通じて、新しい価値とさまざまなあり方を認め合う、豊かで柔軟な社会をめざします。

視点２「国際性」：国際的な創造発信を行ってきた「神奈川」という地域の特性を発揮します。

視点３「多様性」：基本的人権を尊重し、平和を希求する社会の実現に寄与します。

【財団の４つのミッション】（上記、「理念」のもとに、定めた４つのミッション）

■ミッション「創造に挑む」

・芸術文化の価値の追求
・多様な価値観や美意識、表現の自由に基づく作品の創造
・古典作品の再発見と伝統の継承
・劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）が示す公共劇場のモデルを体現

■ミッション「感動を分かち合う」

・自宅でも職場・学校でもない、人びとに開かれた「第３の場所」としての文化施設の実現
・豊かな芸術体験の提供、多様な芸術文化の紹介
・広域ネットワークの構築
・神奈川県内の地域文化の活性化と偏在の解消
・文化施設の維持・運営を通し、あらゆる人々の鑑賞や創造活動を支援

■ミッション「つねに考える」

・新たな行動に結びつく公正で適正な評価と組織整備
・社会と芸術、時代の多面的な検証
・芸術文化の公共性や可能性の考察
・文化施設の公共性や可能性の考察

■ミッション「未来につなぐ」

・芸術文化の担い手の育成
・次世代への継承
・創造性やコミュニケーション力を養う教育の拠点

# 附属明細書

令和６年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はございません。